

(参考)個票 一覧

● 環状通	1
● 札幌北広島環状線（仮称）札幌江別大橋	2
● 横新道	3
● 篠路駅西通	4
● 篠路駅東通	5
● 南1条通（札幌駅前通～福住・桑園通）	6
● 西7丁目通	7
● 福住・桑園通	8
● 米里・行啓通	9
● 新琴似第5横通	10
● 屯田・紅葉山通	11
● 大野地第1中通	12
● 石山・藤野通	13
● 屯田・茨戸通	14
● 宮の森・北24条通 北24条桜大橋	15
● 新琴似3番通	16
● 新琴似・屯田通	17
● 山本通	18
● 北郷公園南通	19
● 西5丁目・樽川通	20
● 手稲左股通	21
● 真駒内御料札幌線	22
● 花畔札幌線	23
● 石山・穴の沢通	24
● 山本小野津幌川沿線	25
● 雁来篠路連絡線	26

(参考)個票一覧

● 新琴似6番通	【H26年度事業完了】	27
● 新琴似第1横通	【H26年度事業完了】	28
● 札幌新道	【H26年度事業完了】	29
● 富丘通	【H27年度事業完了】	30
● 大谷地駅前通	【H25年度事業完了】	31
● 烈々布幹線	【H26年度事業完了】	32
● 山本川下連絡線	【H26年度事業完了】	33
● 簾舞小学校裏通線	【H26年度事業完了】	34
● 宮の森・北24条通	【H27年度事業完了】	35
● 南1条通（西20丁目～環状通）	【H28年度事業完了】	36
● ひまわり通	【H29年度事業完了】	37
● 興産社大野地線	【H29年度事業完了】	38
● 西野真駒内清田線（こばやし峠）	【H29年度事業完了】	39
● 厚別川左岸通	【H30年度事業完了】	40
● 北8条通	【H30年度事業完了】	41
● 清田通	【H31年度事業完了】	42
● 北5条・手稻通	【H31年度事業完了】	43

環状通

平成27年10月作成

(1)路線の特徴



(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・バス交通の利便性・定時性向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・避難所へのアクセス性向上
- ・札幌都市圏の骨格幹線道路網の形成
- ・地域景観、地域防災力の向上

(3)事業概要

路線名	環状通
事業区間	米里・行啓通～西7丁目通
事業延長	2030m
うち、事業着手区間	福住・桑園通～西7丁目通
うち、事業着手延長	1120m

現在の道路の状況

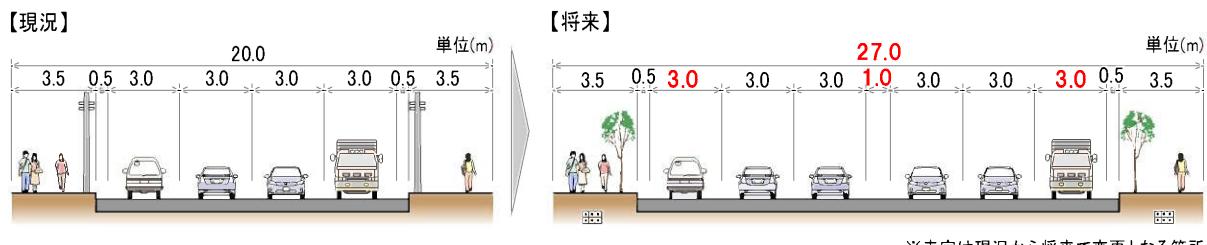
事業区間(整備前)



(4)位置図



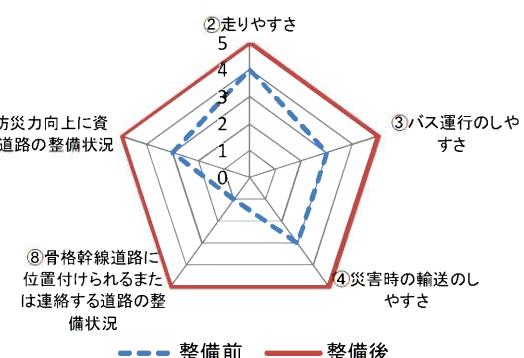
(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後
車線数増により交通の円滑性が向上			
②走りやすさ	ランク4 車線数4	⇒	ランク5 車線数6
道路が広がりバス運行の円滑性が向上			
③バス運行のしやすさ	ランク3 車道幅員13m	⇒	ランク5 車道幅員20m
災害時に緊急輸送路として活用可能			
④災害時の輸送のしやすさ	ランク3 車道幅員13m	⇒	ランク5 車道幅員20m
道路整備により都市の骨格となる幹線道路が形性または連絡強化			
⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況	ランク1 整備なし	⇒	ランク5 整備あり
電線地中化により道路の防災力が向上			
⑯防災力向上に資する道路の整備状況	ランク3 道路幅員15m超	⇒	ランク5 電線共同溝整備

【グラフ】



(7)備考

上記の他に、⑯景観向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

札幌北広島環状線（仮称）札幌江別大橋

(1)路線の特徴



平成27年10月作成

(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・札幌都市圏の骨格幹線道路網の形成
- ・札幌市と江別市を結ぶ道路ネットワークの形成
- ・地域間の連携強化
- ・歩行者の歩きやすさ向上

(3)事業概要

路線名	札幌北広島環状線（仮称）札幌江別大橋
事業区間	福移沼端線～江別市界
事業延長	700m
うち、事業着手区間	-
うち、事業着手延長	-

現在の道路の状況

事業区間(整備前)

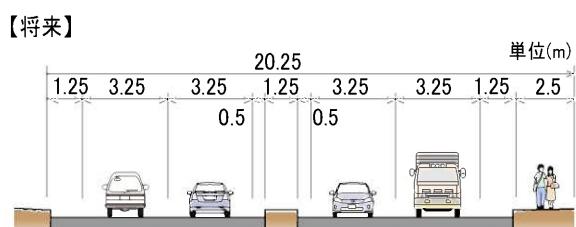


(4)位置図



(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】

現道なし



(6)整備効果

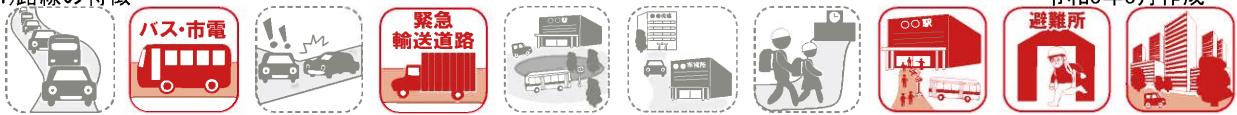
指標	整備前	⇒	整備後	【グラフ】
②走りやすさ	車線数増により交通の円滑性が向上	-	ランク4	⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況
車線数-	車線数-	⇒	車線数4	④災害時の輸送のしやすさ
④災害時の輸送のしやすさ	災害時に緊急輸送路として活用可能	ランク1	ランク4	②走りやすさ
	車道幅員0m	⇒	車道幅員17.75m	⑦他市への移動のしやすさ
⑥道路の選択のしやすさ	道路の整備により、選択可能な道路が増加	ランク1	ランク5	⑥道路の選択のしやすさ
	整備なし	⇒	整備あり	⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況
⑦他市への移動のしやすさ	道路の整備により、他市との連絡が強化	ランク1	ランク5	④災害時の輸送のしやすさ
	整備なし	⇒	整備あり	⑦他市への移動のしやすさ
⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況	道路整備により都市の骨格となる幹線道路が形性または連絡強化	ランク1	ランク5	⑥道路の選択のしやすさ
	整備なし	⇒	整備あり	整備前 整備後

(7)備考

上記の他に、⑪まちづくりを支援する道路の整備状況 ⑫防災力向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

横新道

(1)路線の特徴



令和3年3月作成

(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・バス交通の利便性・定時性向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・交通結節点へのアクセス性向上
- ・避難所へのアクセス性向上
- ・篠路駅周辺地区の市街地整備の促進

(3)事業概要

路線名	横新道
事業区間	東8丁目・篠路通～上篠路循環通
事業延長	770m
うち、事業着手区間	-
うち、事業着手延長	-

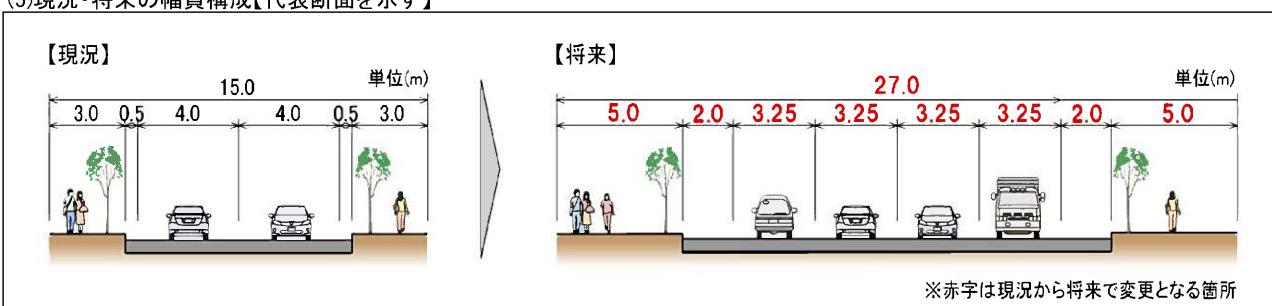
現在の道路の状況



(4)位置図



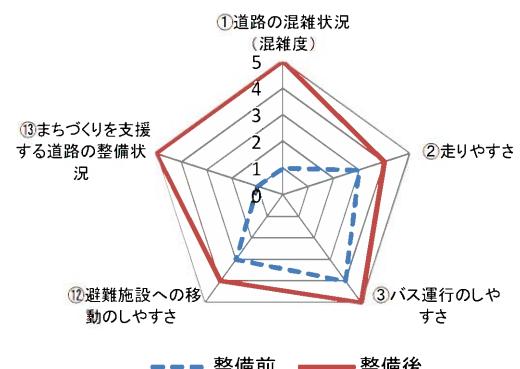
(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後
①道路の混雑状況(混雑度)	交通容量が増大し、交通の円滑性が向上 ランク1 1.77	⇒	ランク5 0.89
②走りやすさ	車線数増により交通の円滑性が向上 ランク3 車線数2	⇒	ランク4 車線数4
③バス運行のしやすさ	道路が広がりバス運行の円滑性が向上 ランク4 車道幅員9m	⇒	ランク5 車道幅員13m
⑭避難施設への移動のしやすさ	歩道が広くなることにより緊急時の避難路として活用可能 ランク3 歩道幅員3m	⇒	ランク4 歩道幅員3.5m
⑮まちづくりを支援する道路の整備状況	近傍にある地区計画の市街地形成を支援 ランク1 整備なし	⇒	ランク5 整備あり

【グラフ】

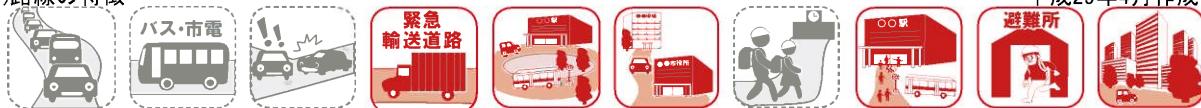


(7)備考

上記の他に、④災害時の輸送のしやすさ ⑤駅等への移動のしやすさ ⑥防災力向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

篠路駅西通

(1)路線の特徴



平成29年4月作成

(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・交通結節点へのアクセス性向上
- ・地域間の連携強化
- ・避難所へのアクセス性向上
- ・篠路駅周辺地区の市街地整備の促進

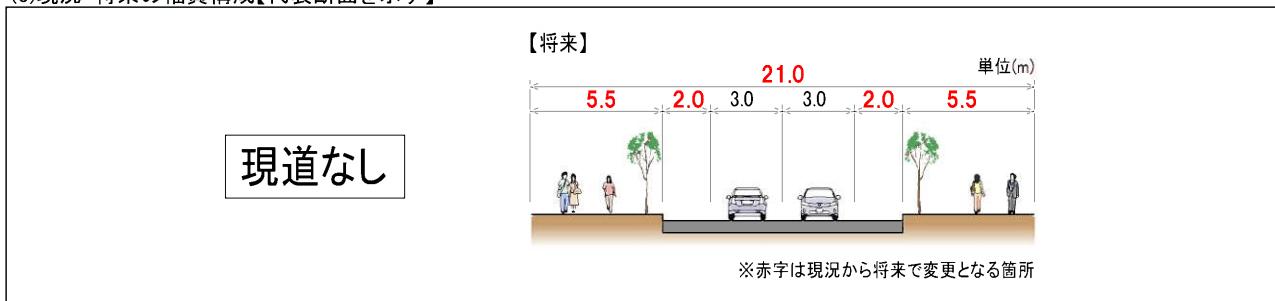
(3)事業概要

路線名	篠路駅西通
事業区間	篠路宅造2号線～東8丁目・篠路通
事業延長	200m
うち、事業着手区間	-
うち、事業着手延長	-
現在の道路の状況	事業区間(一部未整備区間有り)

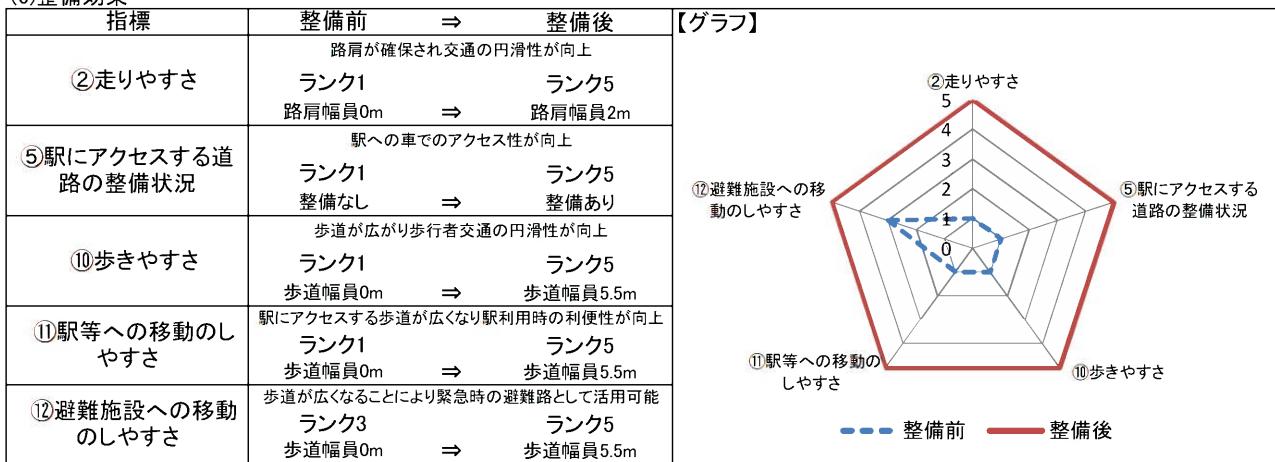
(4)位置図



(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果



(7)備考

上記の他に、④災害時の輸送のしやすさ ⑬まちづくりを支援する道路の整備状況 ⑭防災力向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

篠路駅東通

(1)路線の特徴



平成27年10月作成

(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさの向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・交通結節点へのアクセス向上
- ・避難所へのアクセス性向上
- ・篠路駅周辺地区の市街地整備の促進

(3)事業概要

路線名	篠路駅東通
事業区間	篠路3条7丁目～上篠路ゆうあい通
事業延長	80m
うち、事業着手区間	-
うち、事業着手延長	-

現在の道路の状況

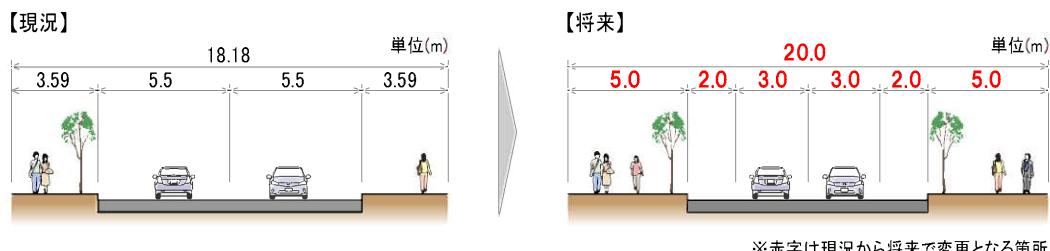
事業区間(整備前)



(4)位置図



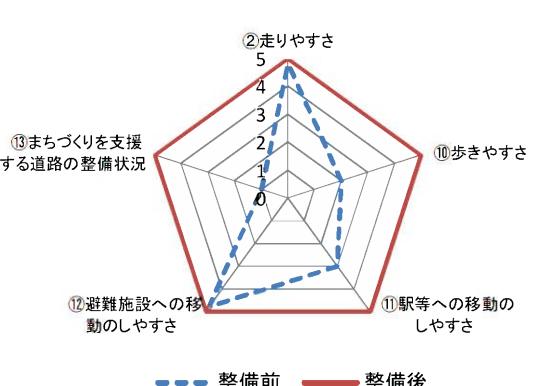
(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後
路肩が確保され交通の円滑性が向上			
②走りやすさ	ランク5 路肩幅員2m	⇒	ランク5 路肩幅員2m
歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上			
⑩歩きやすさ	ランク2 歩道幅員3.59m	⇒	ランク5 歩道幅員5m
駅にアクセスする歩道が広くなり駅利用時の利便性が向上			
⑪駅等への移動のしやすさ	ランク3 歩道幅員3.59m	⇒	ランク5 歩道幅員5m
歩道が広くなることにより緊急時の避難路として活用可能			
⑫避難施設への移動のしやすさ	ランク5 歩道幅員3.59m	⇒	ランク5 歩道幅員5m
近傍にある地区計画の市街地形成を支援			
⑬まちづくりを支援する道路の整備状況	ランク1 整備なし	⇒	ランク5 整備あり

【グラフ】



(7)備考

--

南1条通

(1)路線の特徴



平成27年10月作成

(2)事業目的

- | | |
|-----------------|-----------------|
| ・自動車交通の円滑性向上 | ・児童・生徒の通学時安全性向上 |
| ・歩道の歩きやすさの向上 | ・交通結節点へのアクセス性向上 |
| ・路面電車の利便性・定時性向上 | ・避難所へのアクセス性向上 |
| | ・地域景観、地域防災力の向上 |

(3)事業概要

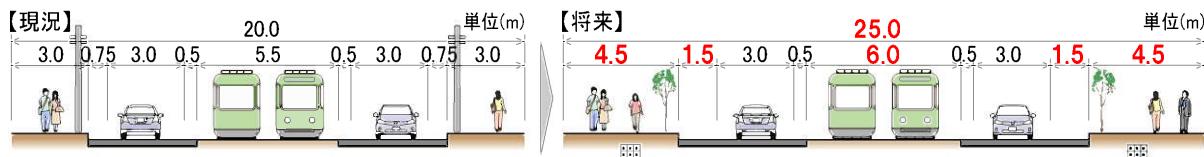
路線名	南1条通
事業区間	札幌駅前通～福住・桑園通
事業延長	1410m
うち、事業着手区間	札幌駅前通～西7丁目通
うち、事業着手延長	390m
現在の道路の状況	



(4)位置図



(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



※赤字は現況から将来で変更となる箇所

(6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後	【グラフ】
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク3 路肩幅員1.25m	⇒	ランク5 路肩幅員2m	⑤景観向上に資する道路の整備状況
⑨通学児童・生徒の歩きやすさ	通学路の歩道が広くなり通学時の安全性が向上 ランク4 歩道幅員3m	⇒	ランク5 歩道幅員4.5m	④防災力向上に資する道路の整備状況
⑩歩きやすさ	歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク2 歩道幅員3m	⇒	ランク4 歩道幅員4.5m	⑥歩きやすさ
⑭防災力向上に資する道路の整備状況	電線地中化により道路の防災力が向上 ランク3 道路幅員15m超	⇒	ランク5 電線共同溝整備	⑦景観向上に資する道路の整備状況
⑮景観向上に資する道路の整備状況	道路の整備により、沿道の景観が向上 ランク1 電線地中化なし	⇒	ランク5 電線地中化あり	⑧走りやすさ ⑨通学児童・生徒の歩きやすさ ⑩歩きやすさ ⑪防災力向上に資する道路の整備状況 ⑫景観向上に資する道路の整備状況

(7)備考

上記の他に、⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況 ⑪駅等への移動のしやすさ ⑫避難施設への移動のしやすさ の面で整備効果があると考えられます。

西7丁目通

(1)路線の特徴



平成31年3月作成

(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
 - ・歩行者の歩きやすさ向上
 - ・路面電車の利便性・定時性向上
 - ・災害時の緊急輸送路の確保

- ・児童・生徒の通学時安全性向上
 - ・交通結節点へのアクセス性向上
 - ・避難所へのアクセス性向上
 - ・地域景観、地域防災力の向上

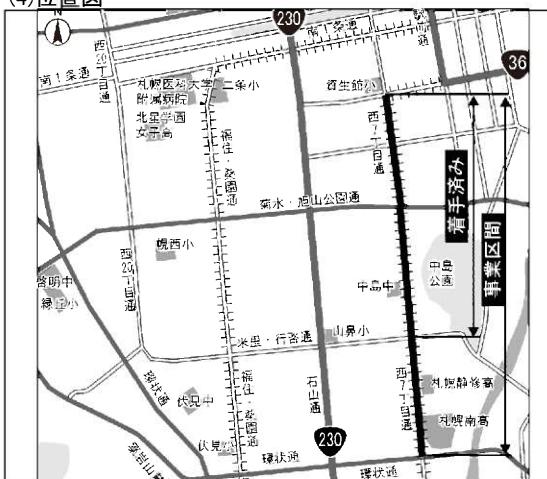
(3)事業概要

路線名	西7丁目通
事業区間	月寒通～環状通
事業延長	2270m
うち、事業着手区間	月寒通～米里・行啓通
うち、事業着手延長	1510m
現在の道路の状況	

事業区間(整備前)

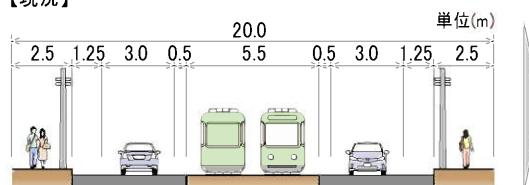


(4) 位置図



(5) 現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】

【現況】



【将来】

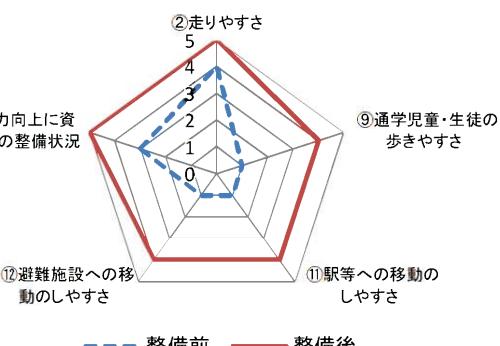


※赤字は現況から将来で変更となる箇所

(6) 整備効率

(6)整備効果		指標	整備前	⇒	整備後
		②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク4		ランク5
		⑨通学児童・生徒の歩きやすさ	路肩幅員1.75m ランク1	⇒	路肩幅員2.5m ランク4
		⑪駅等への移動のしやすさ	通学路の歩道が広くなり通学時の安全性が向上 歩道幅員2.5m ランク1		駅にアクセスする歩道が広くなり駅利用時の利便性が向上 歩道幅員4m ランク4
		⑫避難施設への移動のしやすさ	歩道が広くなることにより緊急時の避難路として活用可能 歩道幅員2.5m ランク1		歩道幅員4m ランク4
		⑯防災力向上に資する道路の整備状況	電線地化により道路の防災力が向上 道路幅員15m超 ランク3	⇒	電線共同整備 ランク5

【グラフ】



(7)備考

上記の他に、(8)骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況 (10)歩きやすさ (15)景観向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

福住・桑園通

(1)路線の特徴



平成31年3月作成

(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・路面電車の利便性・定時性向上
- ・事故危険性の低減
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・児童・生徒の通学時安全性向上
- ・交通結節点へのアクセス性向上
- ・避難所へのアクセス性向上
- ・地域景観、地域防災力の向上

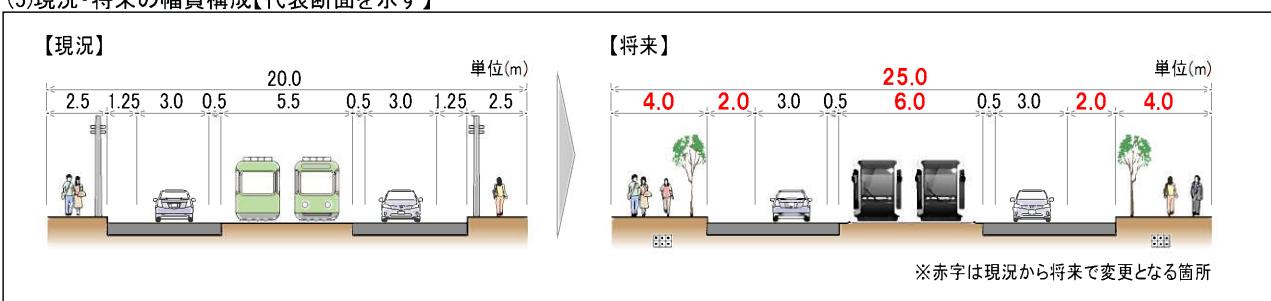
(3)事業概要

路線名	福住・桑園通
事業区間	南1条通～環状通
事業延長	2550m
うち、事業着手区間	南1条通～米里・行啓通
うち、事業着手延長	1790m
現在の道路の状況	
事業区間(整備前)	
電車と車の輻輳(冬期)	

(4)位置図



(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

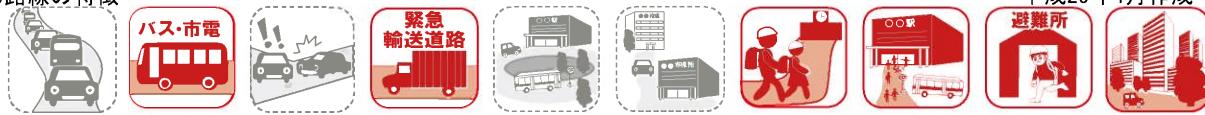
指標	整備前	⇒	整備後	【グラフ】
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク4 路肩幅員1.75m	⇒	ランク5 路肩幅員2.5m	④防災力向上に資する道路の整備状況
⑨通学児童・生徒の歩きやすさ	通学路の歩道が広くなり通学時の安全性が向上 ランク3 歩道幅員2.5m	⇒	ランク5 歩道幅員4m	⑨通学児童・生徒の歩きやすさ
⑪駅等への移動のしやすさ	駅にアクセスする歩道が広くなり駅利用時の利便性が向上 ランク1 歩道幅員2.5m	⇒	ランク4 歩道幅員4m	⑫避難施設への移動のしやすさ
⑫避難施設への移動のしやすさ	歩道が広くなることにより緊急時の避難路として活用可能 ランク1 歩道幅員2.5m	⇒	ランク4 歩道幅員4m	⑪駅等への移動のしやすさ
⑭防災力向上に資する道路の整備状況	電線地中化により道路の防災力が向上 ランク3 道路幅員15m超	⇒	ランク5 電線共同溝整備	----- 整備前 ——— 整備後

(7)備考

上記の他に、⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況 ⑩歩きやすさ ⑯景観向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

米里・行啓通

(1)路線の特徴



平成29年4月作成

(2)事業目的

- 自動車交通の円滑性向上
- 歩道の歩きやすさの向上
- 公共交通機関(バス)の利便性向上
- 災害時の緊急輸送路の確保
- 児童・生徒の通学時安全性向上
- 避難所へのアクセス性向上
- 地域景観、地域防災力の向上
- 右折レーン設置による混雑緩和

(3)事業概要

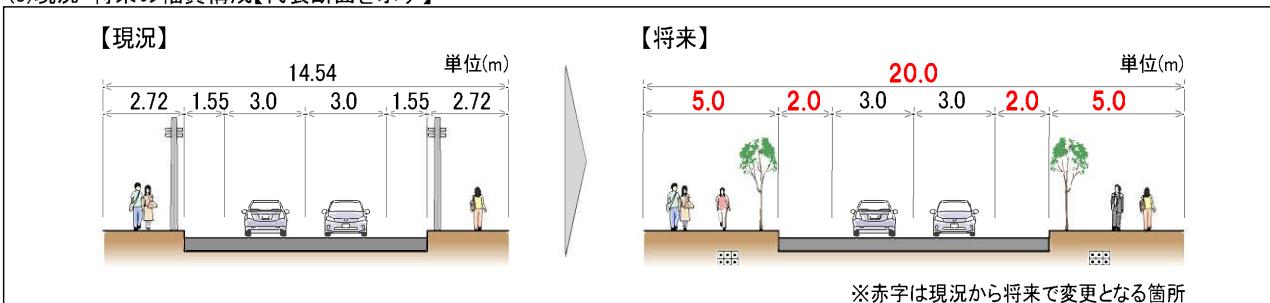
路線名	米里・行啓通
事業区間	西20丁目通～西7丁目通
事業延長	1650m
うち、事業着手区間	石山通～福住・桑園通
うち、事業着手延長	570m
現在の道路の状況	



(4)位置図



(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後	【グラフ】
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク4 路肩幅員1.5m	⇒	ランク5 路肩幅員2m	④防災力向上に資する道路の整備状況
⑨通学児童・生徒の歩きやすさ	通学路の歩道が広くなり通学時の安全性が向上 ランク2 歩道幅員2.72m	⇒	ランク5 歩道幅員5m	⑨通学児童・生徒の歩きやすさ
⑩歩きやすさ	歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク1 歩道幅員2.72m	⇒	ランク5 歩道幅員5m	⑪歩きやすさ
⑫避難施設への移動のしやすさ	歩道が広くなることにより緊急時の避難路として活用可能 ランク3 歩道幅員2.72m	⇒	ランク5 歩道幅員5m	⑫避難施設への移動のしやすさ
⑭防災力向上に資する道路の整備状況	電線地中化により道路の防災力が向上 ランク1 道路幅員15m以下	⇒	ランク5 電線共同溝整備	整備前 整備後

(7)備考

上記の他に、①道路の混雑状況(混雑度) ③バス運行のしやすさ ④災害時の輸送のしやすさ ⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況 ⑪駅等への移動のしやすさ ⑯景観向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

新琴似第5横通

(1)路線の特徴



平成27年10月作成

(2)事業目的

- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・札幌市と石狩市を結ぶ道路ネットワークの形成、連携強化

(3)事業概要

路線名	新琴似第5横通
事業区間	屯田4番通～石狩市界
事業延長	320m
うち、事業着手区間	-
うち、事業着手延長	-

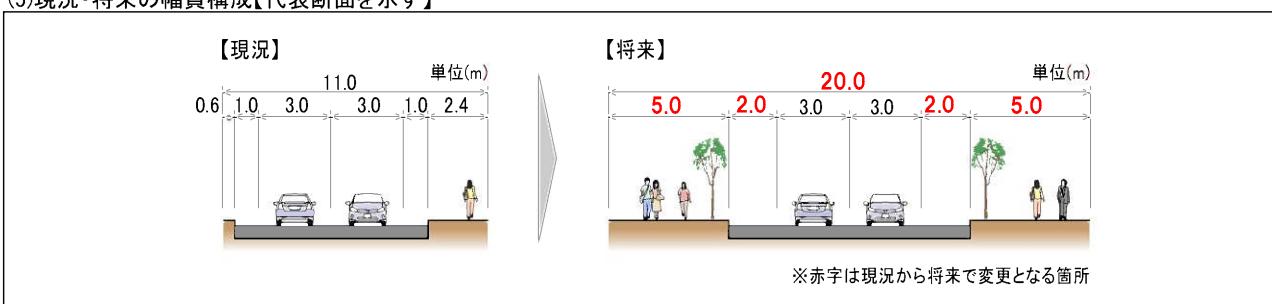
現在の道路の状況



(4)位置図



(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後	【グラフ】
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク3 路肩幅員1m	⇒	ランク5 路肩幅員2m	②走りやすさ ⑦他市への移動のしやすさ ⑬まちづくりを支援する道路の整備状況
⑦他市への移動のしやすさ	道路の整備により、他市との連絡が強化 ランク1 整備なし	⇒	ランク5 整備あり	⑦他市への移動のしやすさ
⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況	道路整備により都市の骨格となる幹線道路が形態または連絡強化 ランク1 整備なし	⇒	ランク5 整備あり	⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況
⑩歩きやすさ	歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク1 歩道幅員2.4m	⇒	ランク5 歩道幅員5m	⑩歩きやすさ
⑯まちづくりを支援する道路の整備状況	道路の整備により、周辺市街地形成を支援 ランク1 整備なし	⇒	ランク5 整備あり	⑯まちづくりを支援する道路の整備状況 --- 整備前 --- 整備後

(7)備考

上記の他に、④災害時の輸送のしやすさ ⑭防災力向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

屯田・紅葉山通

(1)路線の特徴



平成27年10月作成

(2)事業目的

- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・札幌市と石狩市を結ぶ道路ネットワークの形成、連携強化

(3)事業概要

路線名	屯田・紅葉山通
事業区間	防風林南通～石狩市界
事業延長	160m
うち、事業着手区間	防風林南通～屯田・茨戸通
うち、事業着手延長	100m
現在の道路の状況	

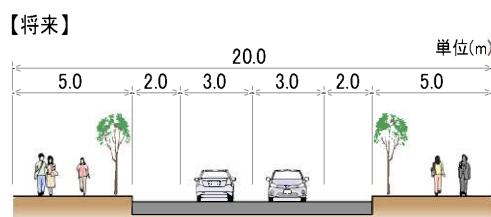


(4)位置図



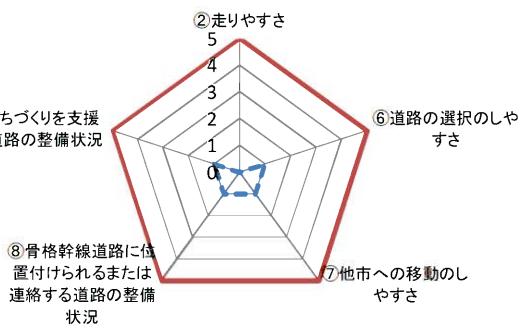
(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】

現道なし



(6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後	【グラフ】
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上	-	ランク5	
路肩幅員-m	路肩幅員-m	⇒	路肩幅員2m	
⑥道路の選択のしやすさ	道路の整備により、選択可能な道路が増加	ランク1	ランク5	⑬まちづくりを支援する道路の整備状況
整備なし	⇒	整備あり		⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況
⑦他市への移動のしやすさ	道路の整備により、他市との連絡が強化	ランク1	ランク5	⑨防災力向上に資する道路の整備状況
整備なし	⇒	整備あり		⑩周辺市街地形成を支援する道路の整備状況
⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況	道路整備により都市の骨格となる幹線道路が形態または連絡強化	ランク1	ランク5	⑪公共交通機関の利用促進状況
整備なし	⇒	整備あり		⑫車両の燃費効率化による環境負荷低減状況
⑬まちづくりを支援する道路の整備状況	道路の整備により、周辺市街地形成を支援	ランク1	ランク5	⑬まちづくりを支援する道路の整備状況
整備なし	⇒	整備あり		⑭地域活性化による地域経済の発展状況



(7)備考

上記の他に、④災害時の輸送のしやすさ ⑭防災力向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

大野地第1中通

(1)路線の特徴



平成27年10月作成

(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・道路ネットワークの構築
- ・地域間の連携強化
- ・交通結節点へのアクセス性向上
- ・避難所へのアクセス性向上

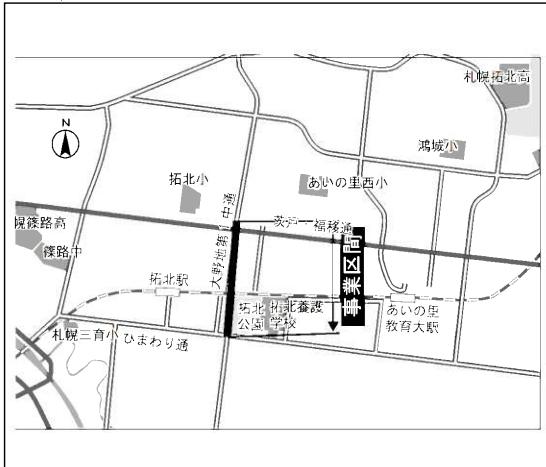
(3)事業概要

路線名	大野地第1中通
事業区間	ひまわり通～茨戸・福移通
事業延長	630m
うち、事業着手区間	-
うち、事業着手延長	-

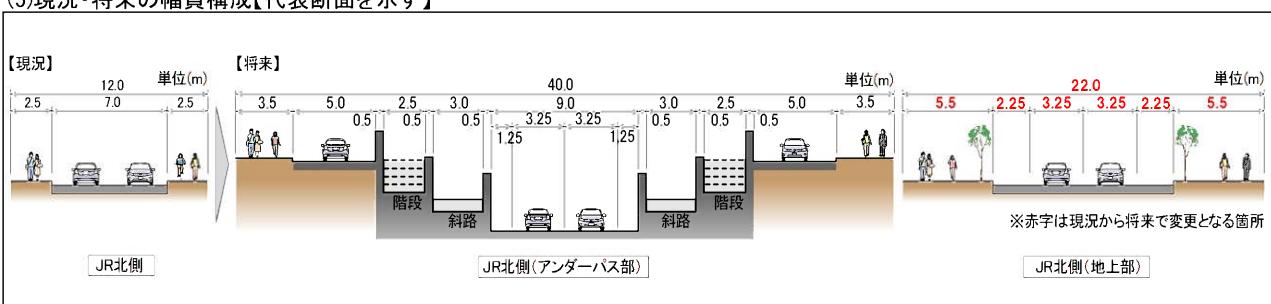
現在の道路の状況



(4)位置図



(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後	【グラフ】
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク2 路肩幅員0.5m	⇒	ランク5 路肩幅員2.25m	<p>②走りやすさ ⑥道路の選択のしやすさ ⑩歩きやすさ ⑪駅等への移動のしやすさ ⑬まちづくりを支援する道路の整備状況</p> <p>整備前 整備後</p>
⑥道路の選択のしやすさ	道路の整備により、選択可能な道路が増加 ランク1 整備なし	⇒	ランク5 整備あり	
⑩歩きやすさ	歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク1 歩道幅員2.5m	⇒	ランク5 歩道幅員5.5m	
⑪駅等への移動のしやすさ	駅にアクセスする歩道が広くなり駅利用時の利便性が向上 ランク1 歩道幅員2.5m	⇒	ランク5 歩道幅員5.5m	
⑬まちづくりを支援する道路の整備状況	道路の整備により、周辺市街地形形成を支援 ランク1 整備なし	⇒	ランク5 整備あり	

(7)備考

上記の他に、④災害時の輸送のしやすさ⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況 ⑭防災力向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

石山・藤野通

(1)路線の特徴



平成28年4月作成

(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・道路ネットワークの構築
- ・地域間の連携強化
- ・道路整備による石山・藤野・簾舞地区地域交通計画の推進
- ・避難所へのアクセス性向上

(3)事業概要

路線名	石山・藤野通
事業区間	藤野1号通～石山・穴の沢通
事業延長	860m
うち、事業着手区間	-
うち、事業着手延長	-

現在の道路の状況

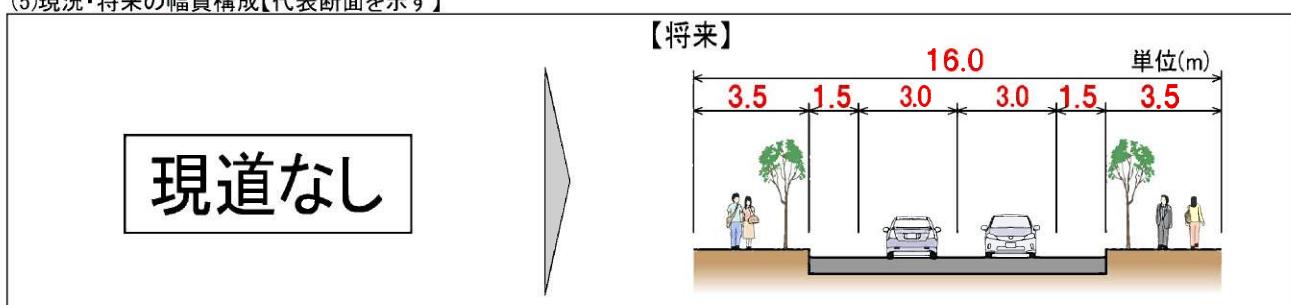
事業区間(整備前)



(4)位置図



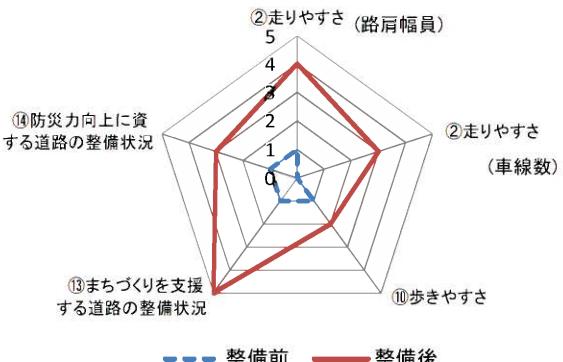
(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク1 路肩幅員0m	⇒	ランク4 路肩幅員1.5m
②走りやすさ	車線数増により交通の円滑性が向上 -	⇒	ランク3 車線数2
⑩歩きやすさ	歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク1 歩道幅員0m	⇒	ランク2 歩道幅員3.5m
⑬まちづくりを支援する道路の整備状況	近傍にある地区計画の市街地形成を支援 ランク1 整備なし	⇒	ランク5 整備あり
⑭防災力向上に資する道路の整備状況	道路幅員増により道路の防災力が向上 ランク1 道路幅員15m以下	⇒	ランク3 道路幅員15m超

【グラフ】



(7)備考

--

屯田・茨戸通

(1)路線の特徴



平成27年10月作成

(2)事業目的

- 自動車交通の円滑性向上
- 道路ネットワークの構築
- 災害時の緊急輸送路の確保
- 他都市との連携強化
- 札幌都市圏の骨格幹線道路網の形成

(3)事業概要

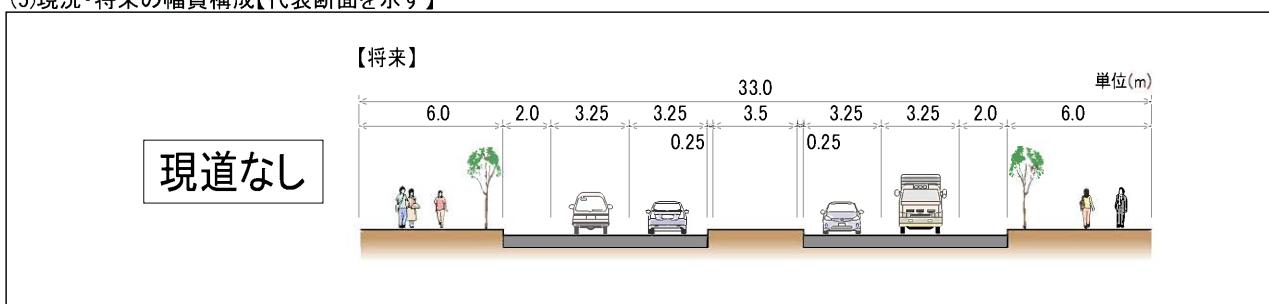
路線名	屯田・茨戸通
事業区間	花川通～創成川通
事業延長	4450m
うち、事業着手区間	花川通～創成川通
うち、事業着手延長	4450m
現在の道路の状況	



(4)位置図



(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後	【グラフ】
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上	-	ランク5 路肩幅員2m	
④災害時の輸送のしやすさ	災害時に緊急輸送路として活用可能	ランク1 車道幅員0m	ランク5 車道幅員21m	③まちづくりを支援する道路の整備状況
⑥道路の選択のしやすさ	道路の整備により、選択可能な道路が増加	ランク1 整備なし	ランク5 整備あり	④災害時の輸送のしやすさ
⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況	道路整備により都市の骨格となる幹線道路が形性または連絡強化	ランク1 整備なし	ランク5 整備あり	⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況
⑯まちづくりを支援する道路の整備状況	道路の整備により、周辺市街地形形成を支援	ランク1 整備なし	ランク5 整備あり	⑨まちづくりを支援する道路の整備状況

(7)備考

上記の他に、⑩防災力向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

宮の森・北24条通 北24条桜大橋

(1)路線の特徴



令和3年3月作成

(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・道路ネットワークの構築
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・地域間の連携強化
- ・避難所へのアクセス性向上

(3)事業概要

路線名	宮の森・北24条通 北24条桜大橋
事業区間	北1条・雁来通～南7条・米里通
事業延長	1360m (米里通の一部を含む)
うち、事業着手区間	北1条・雁来通～南7条・米里通
うち、事業着手延長	1360m (米里通の一部を含む)

現在の道路の状況

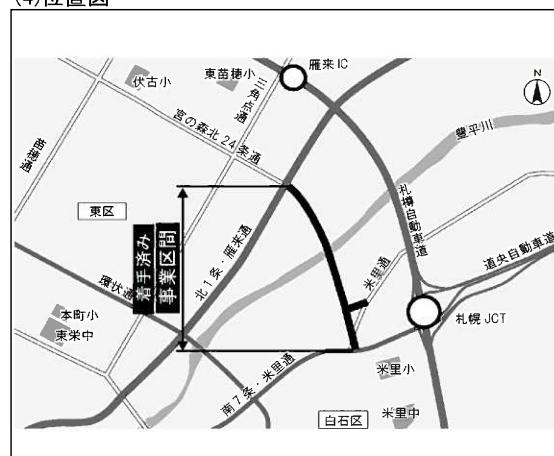
環状北大橋 渋滞状況



豊水大橋 渋滞状況

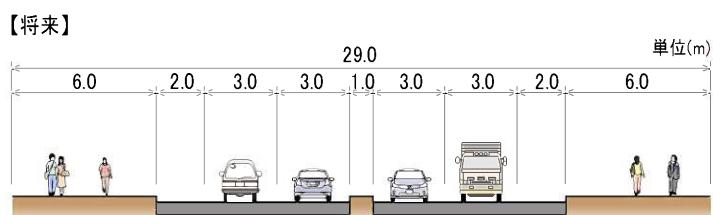


(4)位置図



(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】

現道なし



(6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後	【グラフ】
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上	-	ランク5 路肩幅員2m	③まちづくりを支援する道路の整備状況 ④災害時の輸送のしやすさ ⑥道路の選択のしやすさ ⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況 ⑯防災力向上に資する道路の整備状況
④災害時の輸送のしやすさ	災害時に緊急輸送路として活用可能	ランク2 車道幅員0m	ランク5 車道幅員17m	
⑥道路の選択のしやすさ	道路の整備により、選択可能な道路が増加	ランク1 整備なし	ランク5 整備あり	
⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況	道路整備により都市の骨格となる幹線道路が形性または連絡強化	ランク1 整備なし	ランク5 整備あり	
⑯防災力向上に資する道路の整備状況	道路の整備により、周辺市街地形成を支援	ランク1 整備なし	ランク5 整備あり	

整備前 整備後

②走りやすさ
④災害時の輸送のしやすさ
⑥道路の選択のしやすさ
⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況
⑯防災力向上に資する道路の整備状況

(7)備考

上記の他に、⑯防災力向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

新琴似3番通

(1)路線の特徴



平成27年10月作成

(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・バス交通の利便性・定時性向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・児童・生徒の通学時安全性向上
- ・避難所へのアクセス性向上

(3)事業概要

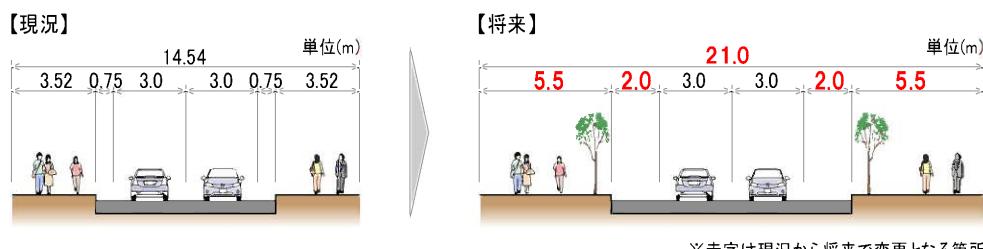
路線名	新琴似3番通
事業区間	琴似・栄町通～新琴似通
事業延長	980m
うち、事業着手区間	琴似・栄町通～新琴似通
うち、事業着手延長	980m
現在の道路の状況	



(4)位置図

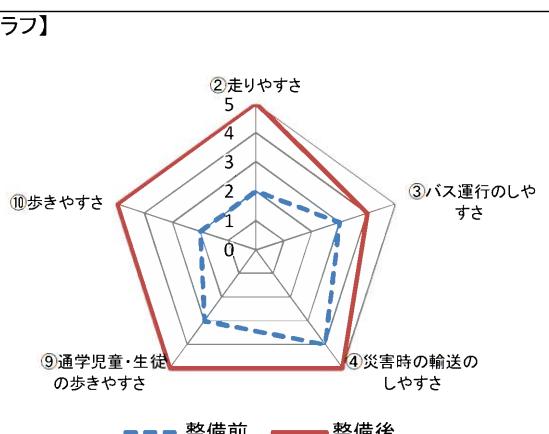


(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク2 路肩幅員0.75m	⇒	ランク5 路肩幅員2m
③バス運行のしやすさ	道路が広がりバス運行の円滑性が向上 ランク3 車道幅員7.5m	⇒	ランク4 車道幅員10m
④災害時の輸送のしやすさ	災害時に緊急輸送路として活用可能 ランク4 車道幅員7.5m	⇒	ランク5 車道幅員10m
⑨通学児童・生徒の歩きやすさ	通学路の歩道が広くなり通学時の安全性が向上 ランク3 歩道幅員3.52m	⇒	ランク5 歩道幅員5.5m
⑩歩きやすさ	歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク2 歩道幅員3.52m	⇒	ランク5 歩道幅員5.5m



(7)備考

上記の他に、⑪避難施設への移動のしやすさ ⑫防災力向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

新琴似・屯田通

(1)路線の特徴



平成27年10月作成

(2)事業目的

- 自動車交通の円滑性向上
- 歩行者の歩きやすさ向上
- バス交通の利便性・定時性向上
- 災害時の緊急輸送路の確保
- 児童・生徒の通学時安全性向上
- 避難所へのアクセス性向上

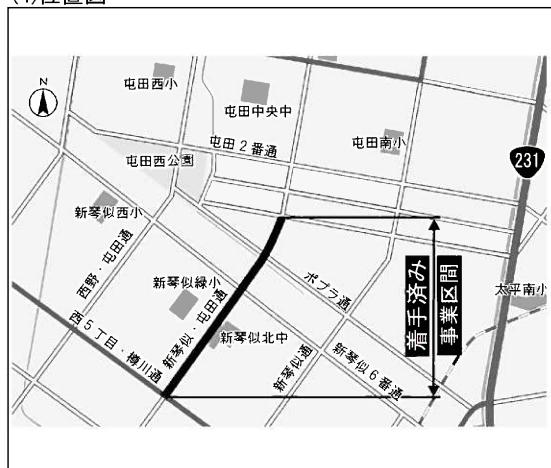
(3)事業概要

路線名	新琴似・屯田通
事業区間	西5丁目・樽川通～屯田4条線
事業延長	1220m
うち、事業着手区間	西5丁目・樽川通～屯田4条線
うち、事業着手延長	1220m

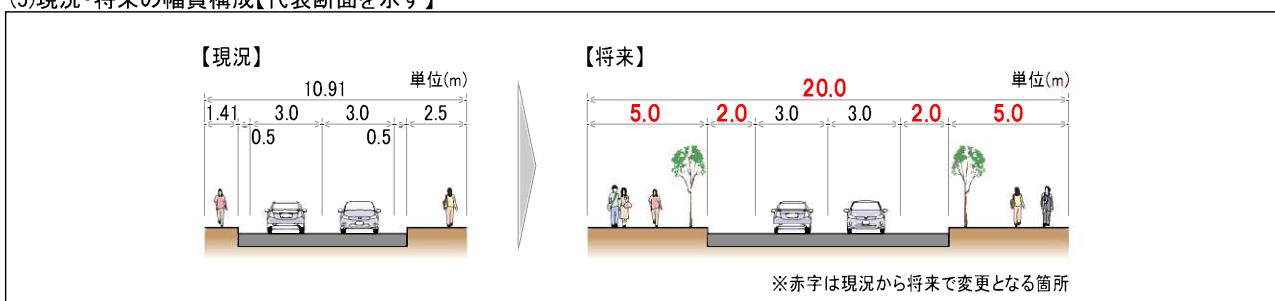
現在の道路の状況



(4)位置図



(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後	【グラフ】
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク2 路肩幅員0.5m	⇒	ランク5 路肩幅員2m	
③バス運行のしやすさ	道路が広がりバス運行の円滑性が向上 ランク2 車道幅員7m	⇒	ランク4 車道幅員10m	
⑨通学児童・生徒の歩きやすさ	通学路の歩道が広くなり通学時の安全性が向上 ランク1 歩道幅員1.41m	⇒	ランク5 歩道幅員5m	
⑩歩きやすさ	歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク1 歩道幅員1.41m	⇒	ランク5 歩道幅員5m	
⑫避難施設への移動のしやすさ	歩道が広くなることにより緊急時の避難路として活用可能 ランク1 歩道幅員1.41m	⇒	ランク5 歩道幅員5m	

(7)備考

上記の他に、④災害時の輸送のしやすさ ⑭防災力向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

山本通

平成27年10月作成

(1)路線の特徴



(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・バス交通の利便性・定時性向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・児童・生徒の通学時安全性向上
- ・交通結節点へのアクセス性向上
- ・避難所へのアクセス性向上

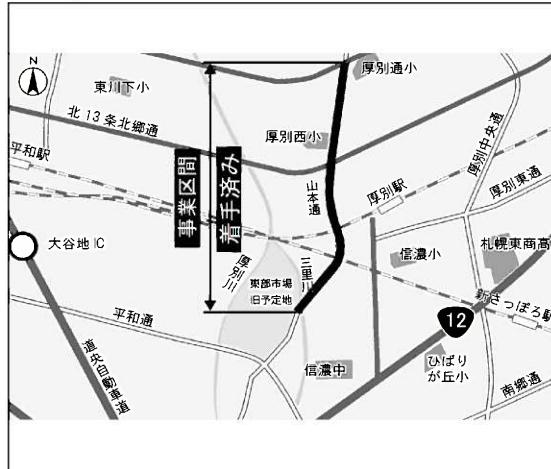
(3)事業概要

路線名	山本通
事業区間	三里川～厚別通
事業延長	1620m
うち、事業着手区間	三里川～厚別通
うち、事業着手延長	1620m

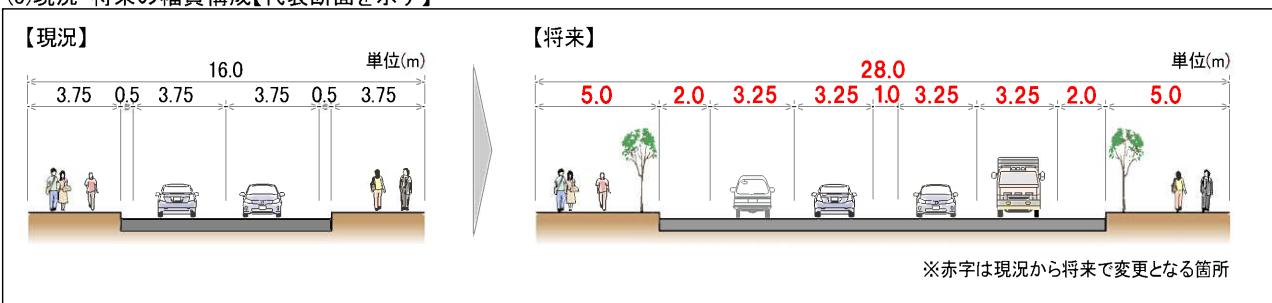
現在の道路の状況



(4)位置図



(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後	【グラフ】
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク2 路肩幅員0.5m	⇒	ランク5 路肩幅員2m	②走りやすさ ③バス運行のしやすさ ⑨通学児童・生徒の歩きやすさ ⑩歩きやすさ ⑫避難施設への移動のしやすさ
③バス運行のしやすさ	道路が広がりバス運行の円滑性が向上 ランク4 車道幅員8.5m	⇒	ランク5 車道幅員18m	③バス運行のしやすさ
⑨通学児童・生徒の歩きやすさ	通学路の歩道が広くなり通学時の安全性が向上 ランク4 歩道幅員3.75m	⇒	ランク5 歩道幅員5m	⑨通学児童・生徒の歩きやすさ
⑩歩きやすさ	歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク2 歩道幅員3.75m	⇒	ランク5 歩道幅員5m	⑩歩きやすさ
⑫避難施設への移動のしやすさ	歩道が広くなることにより緊急時の避難路として活用可能 ランク3 歩道幅員3.75m	⇒	ランク5 歩道幅員5m	⑫避難施設への移動のしやすさ ----- 整備前 ——— 整備後

(7)備考

上記の他に、④災害時の輸送のしやすさ⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

北郷公園南通

(1)路線の特徴



平成27年10月作成

(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・バス交通の利便性・定時性向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・児童・生徒の通学時安全性向上
- ・避難所へのアクセス性向上

(3)事業概要

路線名	北郷公園南通
事業区間	月寒川西通～8線幹道線
事業延長	770m
うち、事業着手区間	月寒川西通～8線幹道線
うち、事業着手延長	770m

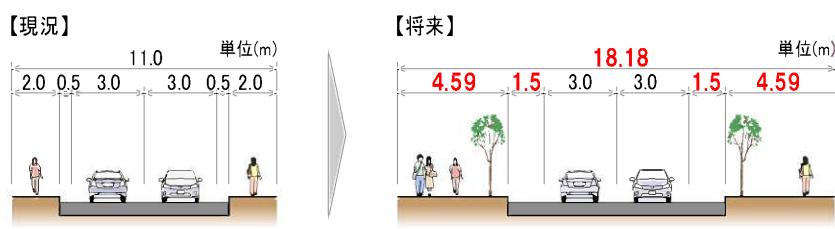
現在の道路の状況



(4)位置図



(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



※赤字は現況から将来で変更となる箇所

(6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後	【グラフ】
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク2 路肩幅員0.5m	⇒	ランク4 路肩幅員1.5m	④防災力向上に資する道路の整備状況
⑨通学児童・生徒の歩きやすさ	通学路の歩道が広くなり通学時の安全性が向上 ランク1 歩道幅員2m	⇒	ランク4 歩道幅員4.59m	⑨通学児童・生徒の歩きやすさ
⑩歩きやすさ	歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク1 歩道幅員2m	⇒	ランク4 歩道幅員4.59m	⑫避難施設への移動のしやすさ
⑫避難施設への移動のしやすさ	歩道が広くなることにより緊急時の避難路として活用可能 ランク3 歩道幅員2m	⇒	ランク5 歩道幅員4.59m	②走りやすさ
⑭防災力向上に資する道路の整備状況	道路幅員増により道路の防災力が向上 ランク1 道路幅員15m以下	⇒	ランク3 道路幅員15m超	⑩歩きやすさ

--- 整備前 --- 整備後 ---

(7)備考

上記の他に、③バス運行のしやすさ④災害時の輸送のしやすさの面で整備効果があると考えられます。

西5丁目・樽川通

(1)路線の特徴



平成29年4月作成

(2)事業目的

- 自動車交通の円滑性向上
- 歩行者の歩きやすさ向上
- バス交通の利便性・定時性向上
- 事故危険性の低減
- 災害時の緊急輸送路の確保
- 児童・生徒の通学時安全性向上
- 交通結節点へのアクセス性向上
- 避難所へのアクセス性向上
- 地域景観・地域防災力の向上

(3)事業概要

路線名	西5丁目・樽川通
事業区間	北19条線～宮の森・北24条通、麻生地区
事業延長	1560m
うち、事業着手区間	北19条線～宮の森・北24条通、麻生地区
うち、事業着手延長	1560m

現在の道路の状況

整備前状況



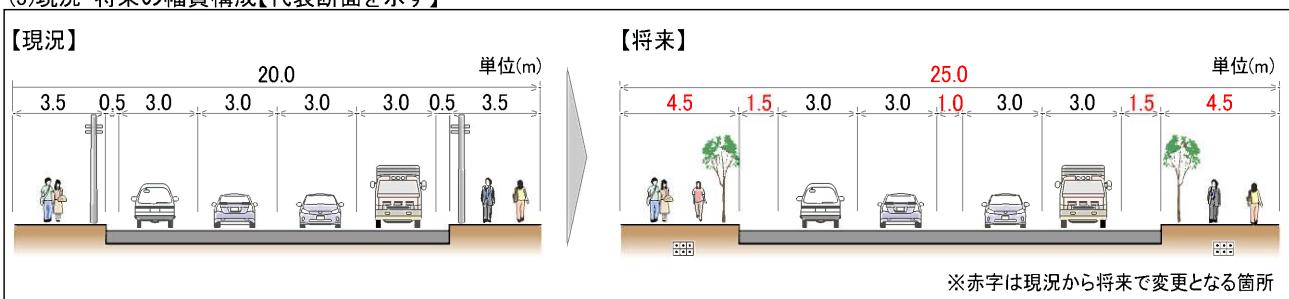
冬期には車線数減少による混雑が発生（路肩が狭く堆雪スペース確保が困難）



(4)位置図



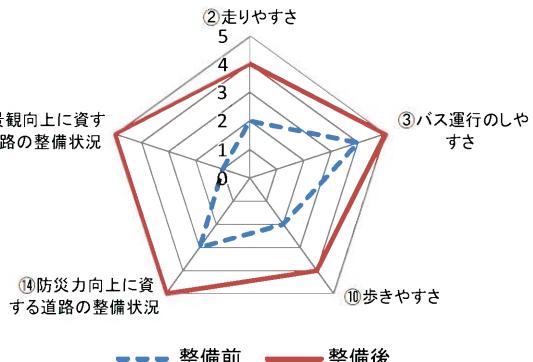
(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

指標	整備前	→	整備後
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク2 路肩幅員0.5m	⇒	ランク4 路肩幅員1.5m
③バス運行のしやすさ	道路が広がりバス運行の円滑性が向上 ランク4 車道幅員13m	⇒	ランク5 車道幅員16m
⑩歩きやすさ	歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク2 歩道幅員3.5m	⇒	ランク4 歩道幅員4.5m
⑭防災力向上に資する道路の整備状況	電線地中化により道路の防災力が向上 ランク3 道路幅員15m超	⇒	ランク5 電線共同溝整備
⑮景観向上に資する道路の整備状況	道路の整備により、沿道の景観が向上 ランク1 電線地中化なし	⇒	ランク5 電線地中化あり

【グラフ】

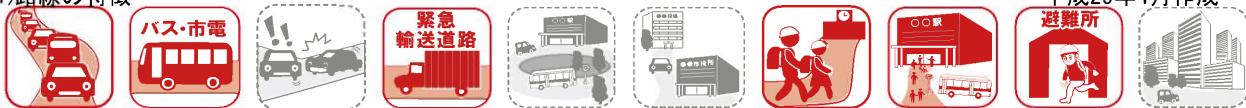


(7)備考

上記の他に、⑫避難施設への移動のしやすさ の面で整備効果があると考えられます。

手稲左股通

(1)路線の特徴



(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・バス交通の利便性・定時性向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・児童・生徒の通学時安全性向上
- ・交通結節点へのアクセス性向上
- ・避難所へのアクセス性向上
- ・札幌都市圏の骨格幹線道路網の形成

平成29年4月作成

(3)事業概要

路線名	手稲左股通
事業区間	北5条・手稲通～西野1・2条1・2丁目線
事業延長	580m
うち、事業着手区間	北5条・手稲通～西野1・2条1・2丁目線
うち、事業着手延長	580m
現在の道路の状況	

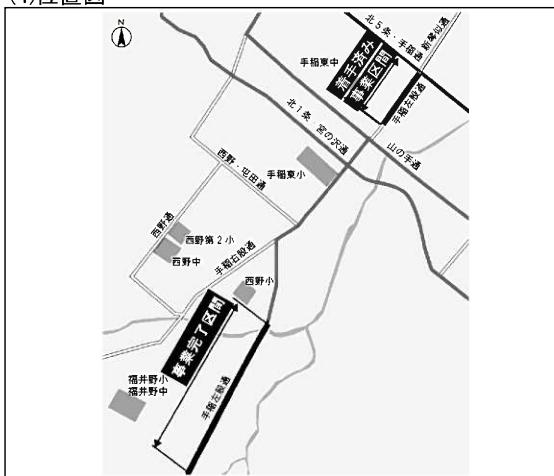
整備前状況



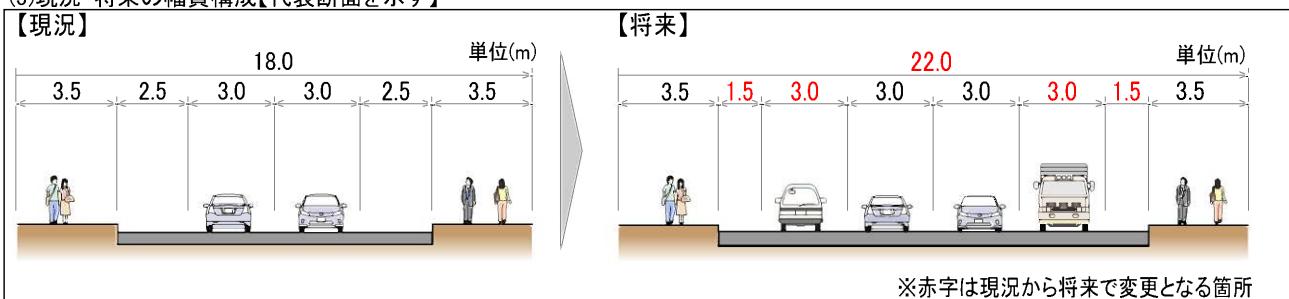
整備前状況



(4)位置図



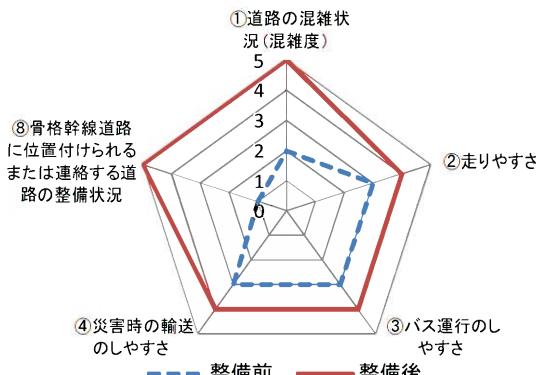
(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

指標	整備前	→	整備後
①道路の混雑状況(混雑度)	交通容量が増大し、交通の円滑性が向上 ランク2 1.65	⇒	ランク5 0.56
②走りやすさ	車線数増により交通の円滑性が向上 ランク3 車線数2	⇒	ランク4 車線数4
③バス運行のしやすさ	道路が広がりバス運行の円滑性が向上 ランク3 車道幅員11m	⇒	ランク4 車道幅員15m
④災害時の輸送のしやすさ	災害時に緊急輸送路として活用可能 ランク3 車道幅員11m	⇒	ランク4 車道幅員15m
⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況	道路整備により都市の骨格となる幹線道路が形性または連絡強化 ランク1 整備なし	⇒	ランク5 整備あり

【グラフ】

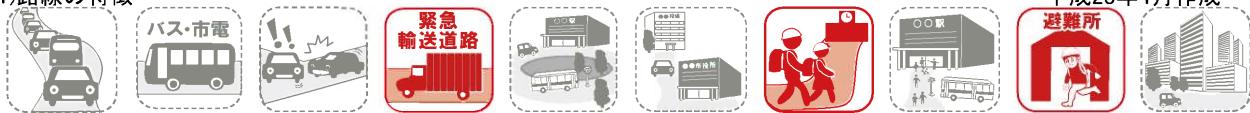


(7)備考

--

真駒内御料札幌線

(1)路線の特徴



平成28年4月作成

(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・児童・生徒の通学時安全性向上
- ・避難所へのアクセス性向上

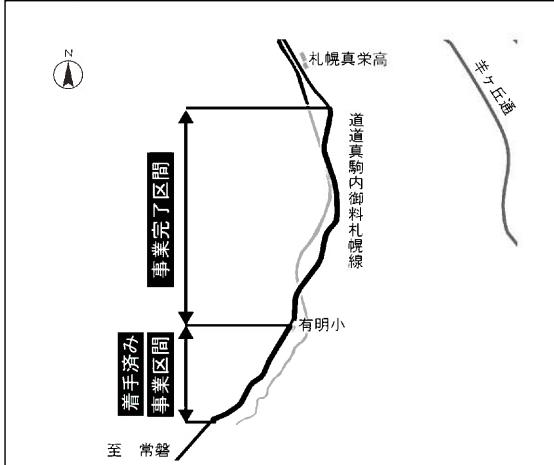
(3)事業概要

路線名	真駒内御料札幌線
事業区間	有明小学校～有明248-2地先
事業延長	1000m
うち、事業着手区間	有明小学校～有明248-2地先
うち、事業着手延長	1000m

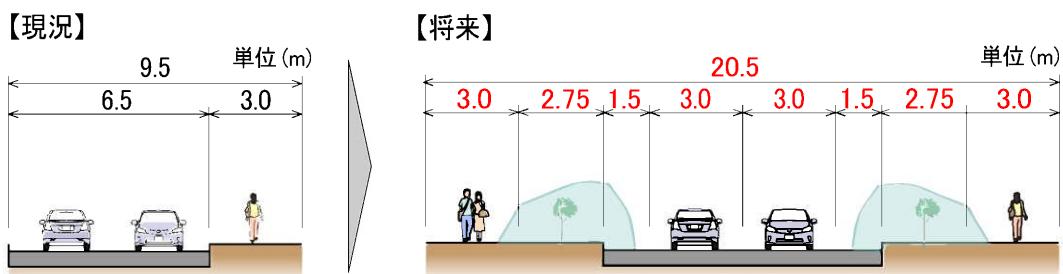
現在の道路の状況



(4)位置図



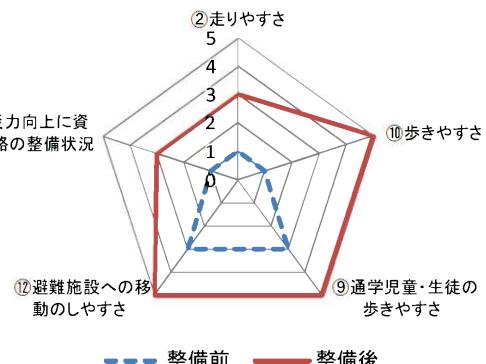
(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

指標	整備前	→	整備後
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク1 路肩幅員0.25m	⇒	ランク3 路肩幅員1.25m
⑩歩きやすさ	歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク1 歩道幅員1.5m	⇒	ランク5 歩道幅員6m
⑨通学児童・生徒の歩きやすさ	通学路の歩道が広くなり通学時の安全性が向上 ランク3 歩道幅員1.5m	⇒	ランク5 歩道幅員6m
⑫避難施設への移動のしやすさ	歩道が広くなることにより緊急時の避難路として活用可能 ランク3 歩道幅員1.5m	⇒	ランク5 歩道幅員6m
⑭防災力向上に資する道路の整備状況	道路幅員増により道路の防災力が向上 ランク1 道路幅員15m以下	⇒	ランク3 道路幅員15m超

【グラフ】



(7)備考

--

花畔札幌線

(1)路線の特徴



平成27年10月作成

(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・バス交通の利便性・定時性向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・児童・生徒の通学時安全性向上
- ・交通結節点へのアクセス性向上
- ・避難所へのアクセス性向上
- ・篠路駅周辺地区の市街地整備の促進

(3)事業概要

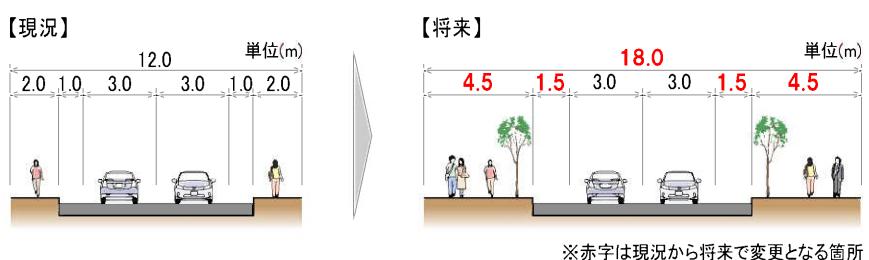
路線名	花畔札幌線
事業区間	雁来篠路連絡線～篠路駅前団地本通線
事業延長	530m
うち、事業着手区間	雁来篠路連絡線～篠路駅前団地本通線
うち、事業着手延長	530m
現在の道路の状況	



(4)位置図



(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

指標	整備前	→	整備後	【グラフ】																		
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク3 路肩幅員1m	⇒	ランク4 路肩幅員1.5m																			
⑩歩きやすさ	歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク1 歩道幅員2m	⇒	ランク4 歩道幅員4.5m																			
⑨通学児童・生徒の歩きやすさ	通学路の歩道が広くなり通学時の安全性が向上 ランク1 歩道幅員2m	⇒	ランク4 歩道幅員4.5m																			
⑪駅等への移動のしやすさ	駅にアクセスする歩道が広くなり駅利用時の利便性が向上 ランク1 歩道幅員2m	⇒	ランク4 歩道幅員4.5m																			
⑫避難施設への移動のしやすさ	歩道が広くなることにより緊急時の避難路として活用可能 ランク3 歩道幅員2m	⇒	ランク5 歩道幅員4.5m	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>整備前</th> <th>整備後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>②走りやすさ</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>⑩歩きやすさ</td> <td>1</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>⑨通学児童・生徒の歩きやすさ</td> <td>1</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>⑪駅等への移動のしやすさ</td> <td>1</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>⑫避難施設への移動のしやすさ</td> <td>3</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	指標	整備前	整備後	②走りやすさ	3	4	⑩歩きやすさ	1	4	⑨通学児童・生徒の歩きやすさ	1	4	⑪駅等への移動のしやすさ	1	4	⑫避難施設への移動のしやすさ	3	5
指標	整備前	整備後																				
②走りやすさ	3	4																				
⑩歩きやすさ	1	4																				
⑨通学児童・生徒の歩きやすさ	1	4																				
⑪駅等への移動のしやすさ	1	4																				
⑫避難施設への移動のしやすさ	3	5																				

(7)備考

上記の他に、⑭防災力向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

石山・穴の沢通

(1)路線の特徴



平成28年4月作成

(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・バス交通の利便性・定時制向上
- ・地域間の連携強化
- ・道路整備による石山・藤野・簾舞地区地域交通計画の推進
- ・避難所へのアクセス性向上
- ・児童・生徒の通学時安全性向上

(3)事業概要

路線名	石山・穴の沢通
事業区間	石山通～市街化区域界
事業延長	620m
うち、事業着手区間	石山通～市街化区域界
うち、事業着手延長	620m

現在の道路の状況

夏



冬

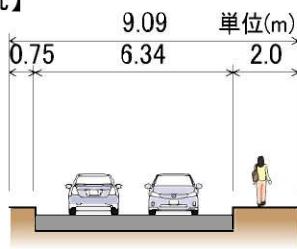


(4)位置図

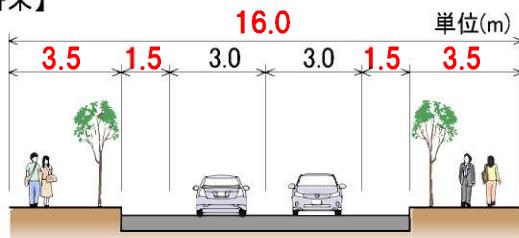


(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】

【現況】



【将来】



(6)整備効果

指標	整備前	→	整備後	【グラフ】
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク1 路肩幅員0.17m	⇒	ランク4 路肩幅員1.5m	④防災力向上に資する道路の整備状況
③バス運行のしやすさ	道路が広がりバス運行の円滑性が向上 ランク3 車道幅員6.34m	⇒	ランク4 車道幅員9m	②走りやすさ ③バス運行のしやすさ ⑨通学児童・生徒の歩きやすさ ⑯避難施設への移動のしやすさ ⑭防災力向上に資する道路の整備状況
⑨通学児童・生徒の歩きやすさ	通学路の歩道が広くなり通学時の安全性が向上 ランク1 歩道幅員1.375m	⇒	ランク3 歩道幅員3.5m	⑨通学児童・生徒の歩きやすさ
⑯避難施設への移動のしやすさ	歩道が広くなることにより緊急時の避難路として活用可能 ランク3 歩道幅員1.375m	⇒	ランク5 歩道幅員3.5m	⑯避難施設への移動のしやすさ
⑭防災力向上に資する道路の整備状況	道路幅員増により道路の防災力が向上 ランク1 道路幅員15m以下	⇒	ランク3 道路幅員15m超	整備前 整備後

(7)備考

上記の他に、⑩歩きやすさ の面で整備効果があると考えられます。

山本小野津幌川沿線

(1)路線の特徴



平成28年4月作成

(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・地域間の連携強化
- ・避難所へのアクセス性向上
- ・公共施設へのアクセス性向上
- ・山本線の交通混雑解消

(3)事業概要

路線名	山本小野津幌川沿線
事業区間	山本線～道道大麻東雁来線
事業延長	1,500m
うち、事業着手区間	山本線～道道大麻東雁来線
うち、事業着手延長	1,500m

現在の道路の状況

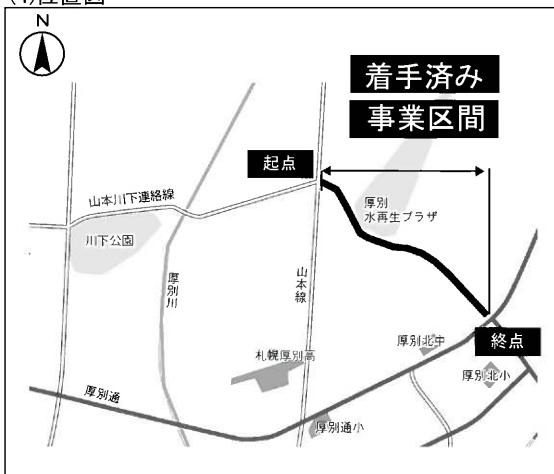
事業区間(整備前)



起点側

終点側

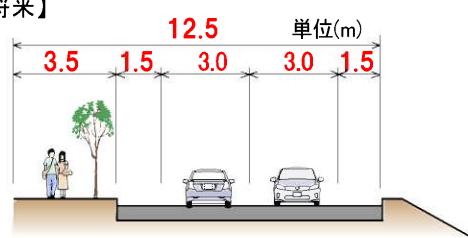
(4)位置図



(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】

現道なし

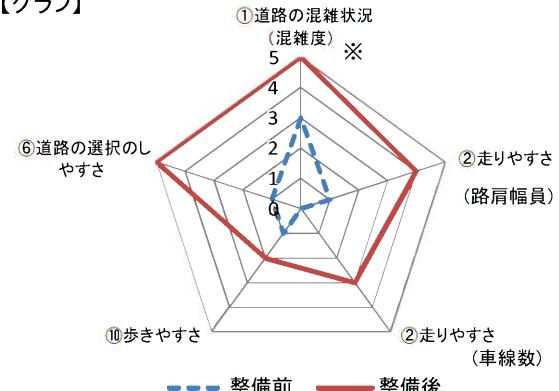
【将来】



(6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後
①道路の混雑状況(混雑度)※	交通容量が増大し、交通の円滑性が向上 ランク3 1.49	⇒	ランク5 0.76
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク1 路肩幅員0m	⇒	ランク4 路肩幅員1.5m
③走りやすさ	車線数増により交通の円滑性が向上 ランク3 車線数0	⇒	ランク3 車線数2
⑩歩きやすさ	歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク1 歩道幅員0m	⇒	ランク2 歩道幅員3.5m
⑥道路の選択のしやすさ	道路の整備により、選択可能な道路が増加 ランク1 整備なし	⇒	ランク5 整備あり

【グラフ】



※山本線の混雑度について

(7)備考

上記の他に、⑭防災力向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

雁来篠路連絡線

(1)路線の特徴



平成29年4月作成

(2)事業目的

- 自動車交通の円滑性向上
- 交差点の交通渋滞解消
- 避難所へのアクセス性向上
- 周辺レクリエーション施設へのアクセス性向上

(3)事業概要

路線名	雁来篠路連絡線
事業区間	道道札幌当別線～市道苗穂三角街道線
事業延長	1,700m
うち、事業着手区間	道道札幌当別線～市道苗穂三角街道線
うち、事業着手延長	1,700m

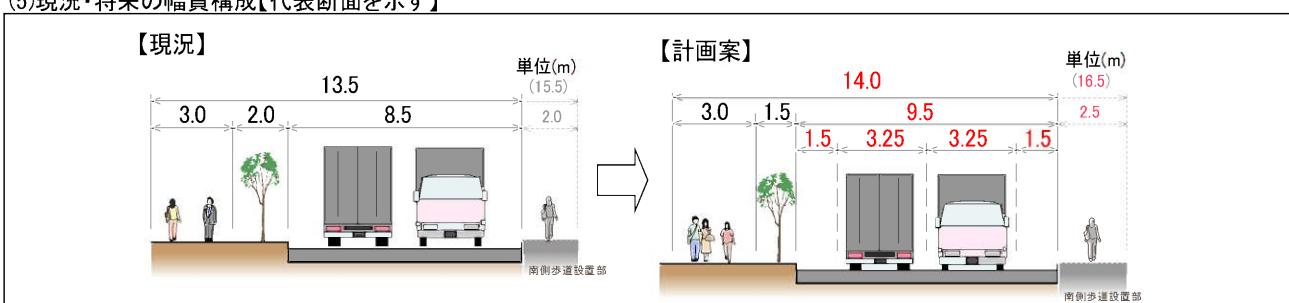
現在の道路の状況



(4)位置図



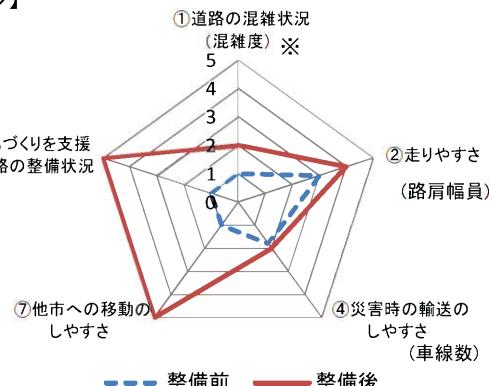
(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後
①道路の混雑状況(混雑度)	交通容量が増大し、交通の円滑性が向上 ランク1 2.01	⇒	ランク2 1.68
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク3 路肩幅員1.25m	⇒	ランク4 路肩幅員1.5m
④災害時の輸送のしやすさ	災害時に緊急輸送路として活用可能 ランク2 車道幅員8.5m	⇒	ランク2 車道幅員9.5m
⑦他市への移動のしやすさ	道路の整備により、他市との連絡が強化 ランク1 整備なし	⇒	ランク5 整備あり
⑯まちづくりを支援する道路の整備状況	近傍にある地区計画の市街地形成を支援 ランク1 整備なし	⇒	ランク5 整備あり

【グラフ】



(7)備考

--

新琴似6番通

(1)路線の特徴



平成27年10月作成

(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・道路ネットワークの構築
- ・バス交通の利便性・定時性向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・避難所へのアクセス性向上

(3)事業概要

路線名	新琴似6番通
事業区間	創成川通～琴似・栄町通
事業延長	240m

現在の道路の状況



(4)位置図



(5)幅員構成【代表断面を示す】

【整備前】

現道なし

【整備後】



(6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後	【グラフ】
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上	-	ランク3 路肩幅員-m ⇒ 路肩幅員1.25m	
⑥道路の選択のしやすさ	道路の整備により、選択可能な道路が増加	ランク1 整備なし ⇒ 整備あり	ランク5	
⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況	道路整備により都市の骨格となる幹線道路が形性または連絡強化	ランク1 整備なし ⇒ 整備あり	ランク5	
⑫避難施設への移動のしやすさ	歩道が広くなることにより緊急時の避難路として活用可能	ランク3 歩道幅員-m ⇒ 歩道幅員3.5m	ランク5	
⑬まちづくりを支援する道路の整備状況	道路の整備により、周辺市街地形成を支援	ランク1 整備なし ⇒ 整備あり	ランク5	

(7)備考

上記の他に、⑩歩きやすさ の面で整備効果があると考えられます。

新琴似第1横通

(1)路線の特徴



平成27年10月作成

(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・児童・生徒の通学時安全性向上
- ・交通結節点へのアクセス性向上
- ・避難所へのアクセス性向上

(3)事業概要

路線名	新琴似第1横通
事業区間	新琴似6番通～西5丁目・樽川通
事業延長	730m

現在の道路の状況

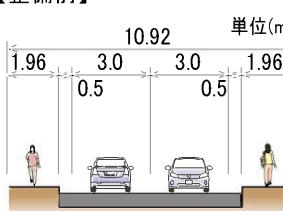


(4)位置図

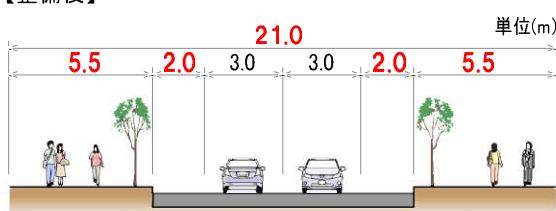


(5)幅員構成【代表断面を示す】

【整備前】



【整備後】



※赤字は現況から将来で変更となる箇所

(6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後	【グラフ】
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク2 路肩幅員0.5m	⇒	ランク5 路肩幅員2m	
⑨通学児童・生徒の歩きやすさ	通学路の歩道が広くなり通学時の安全性が向上 ランク3 歩道幅員1.96m	⇒	ランク5 歩道幅員5.5m	
⑩歩きやすさ	歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク1 歩道幅員1.96m	⇒	ランク5 歩道幅員5.5m	
⑫避難施設への移動のしやすさ	歩道が広くなることにより緊急時の避難路として活用可能 ランク2 歩道幅員1.96m	⇒	ランク5 歩道幅員5.5m	
⑪駅等への移動のしやすさ	駅にアクセスする歩道が広くなり駅利用時の利便性が向上 ランク1 歩道幅員1.96m	⇒	ランク5 歩道幅員5.5m	

(7)備考

上記の他に、④災害時の輸送のしやすさ ⑭防災力向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

札幌新道

(1)路線の特徴



平成27年10月作成

(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・道路ネットワークの構築
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・札幌都市圏の骨格幹線道路網の形成
- ・札幌市と北広島市を結ぶ道路ネットワークの形成、連携強化
- ・避難所へのアクセス性向上
- ・高速道路ICへのアクセス性向上

(3)事業概要

路線名	札幌新道
事業区間	大曲通～厚別東通
事業延長	2010m

現在の道路の状況

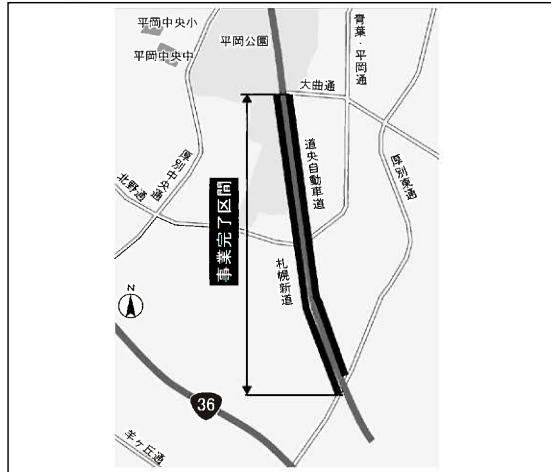
整備前



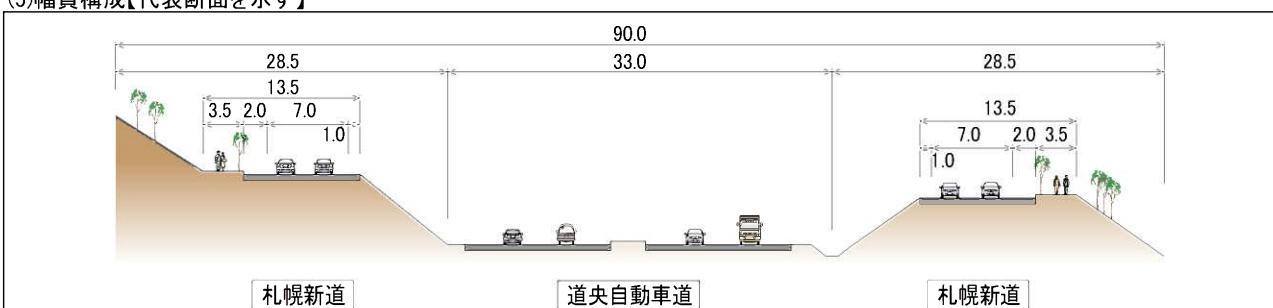
整備後



(4)位置図



(5)幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後	【グラフ】
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上	-	ランク5 路肩幅員-m ⇒ 路肩幅員3m	
⑤ICにアクセスする道路の整備状況	ICへの車でのアクセス性が向上	ランク1 整備なし ⇒ 整備あり	ランク5 整備あり	⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況
⑥道路の選択のしやすさ	道路の整備により、選択可能な道路が増加	ランク1 整備なし ⇒ 整備あり	ランク5 整備あり	⑦他市への移動のしやすさ
⑦他市への移動のしやすさ	道路の整備により、他市との連絡が強化	ランク1 整備なし ⇒ 整備あり	ランク5 整備あり	⑥道路の選択のしやすさ
⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況	道路整備により都市の骨格となる幹線道路が形成または連絡強化	ランク1 整備なし ⇒ 整備あり	ランク5 整備あり	整備前 整備後

(7)備考

上記の他に、④災害時の輸送のしやすさ ⑪避難施設への移動のしやすさ の面で整備効果があると考えられます。

富丘通

(1)路線の特徴



平成27年10月作成

(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・道路ネットワークの構築
- ・バス交通の利便性・定時性向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・児童・生徒の通学時安全性向上
- ・地域間の連携強化
- ・交通結節点へのアクセス性向上
- ・避難所へのアクセス性向上

(3)事業概要

路線名	富丘通
事業区間	下手稻通～新琴似2条通
事業延長	1620m

現在の道路の状況

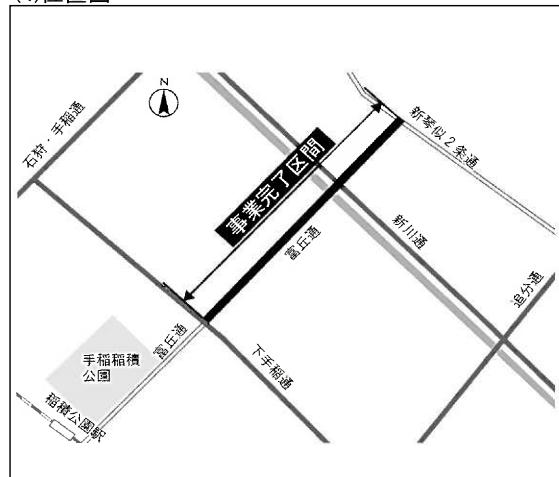
整備前



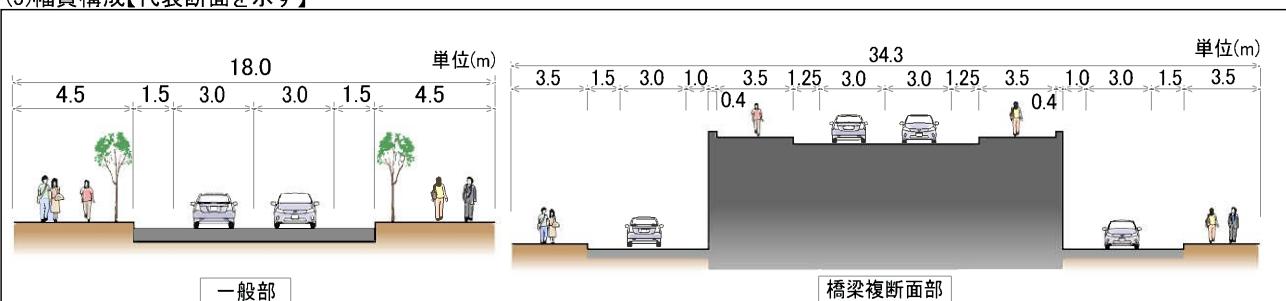
整備後



(4)位置図



(5)幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

指標	整備前	→	整備後	【グラフ】
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク1 路肩幅員0m	⇒	ランク4 路肩幅員1.5m	
⑤駅にアクセスする道路の整備状況	駅への車でのアクセスが向上 ランク1 整備なし	⇒	ランク5 整備あり	
⑥道路の選択のしやすさ	道路の整備により、選択可能な道路が増加 ランク1 整備なし	⇒	ランク5 整備あり	
⑨通学児童・生徒の歩きやすさ	通学路の歩道が広くなり通学時の安全性が向上 ランク1 歩道幅員0m	⇒	ランク4 歩道幅員4.5m	
⑩歩きやすさ	歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク1 歩道幅員0m	⇒	ランク4 歩道幅員4.5m	

(7)備考

上記の他に、⑪駅等への移動のしやすさ ⑫避難施設への移動のしやすさ ⑬まちづくりを支援する道路の整備状況 ⑭防災力向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

大谷地駅前通

(1)路線の特徴



(2)事業目的

- ・道路ネットワークの構築
 - ・公共交通施設へのアクセス性向上
 - ・災害時の緊急輸送路の確保
 - ・交通結節点へのアクセス性向上
 - ・児童・生徒の通学時安全性向上
 - ・避難所へのアクセス性向上

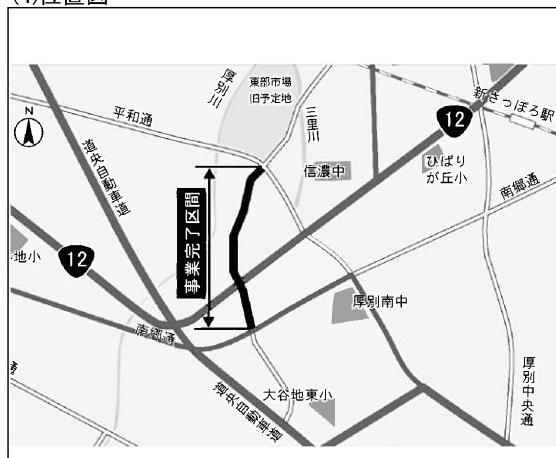
(3)事業概要

路線名	大谷地駅前通
事業区間	南郷通～平和通
事業延長	860m

現在の道路の状況



(4) 位置図

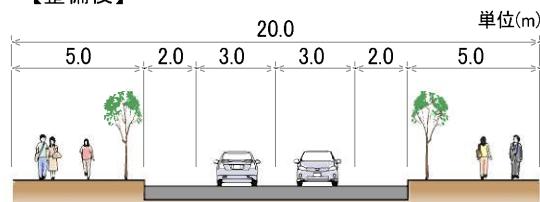


(5)幅員構成【代表断面を示す】

【整備前】

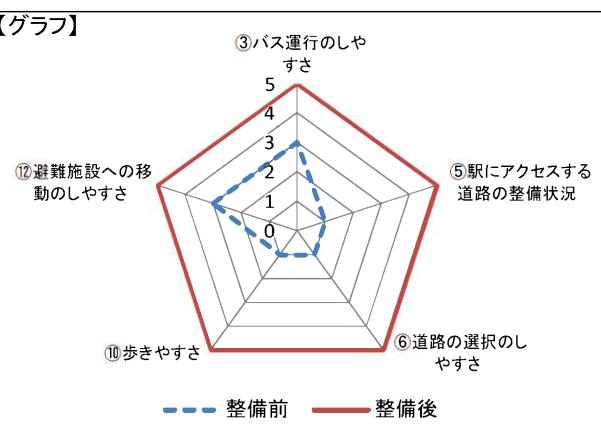
【整備後】

現道なし



(6) 整備効果

指標	整備前	⇒	整備後
③バス運行のしやすさ	道路が広がりバス運行の円滑性が向上		
	ランク3	⇒	ランク5
	車道幅員0m	⇒	車道幅員10m
⑤駅にアクセスする道路の整備状況	駅への車でのアクセス性が向上		
	ランク1	⇒	ランク5
	整備なし	⇒	整備あり
⑥道路の選択のしやすさ	道路の整備により、選択可能な道路が増加		
	ランク1	⇒	ランク5
	整備なし	⇒	整備あり
⑩歩きやすさ	歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上		
	ランク1	⇒	ランク5
	歩道幅員0m	⇒	歩道幅員5m
⑫避難施設への移動のしやすさ	歩道が広くなることにより緊急時の避難路として活用可能		
	ランク3	⇒	ランク5
	歩道幅員0m	⇒	歩道幅員5m



(7)備考

上記の他に、④災害時の輸送のしやすさ ⑨通学児童・生徒の歩きやすさ ⑪駅等への移動のしやすさ ⑭防災力向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

烈々布幹線

(1)路線の特徴



平成27年10月作成

(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・バス交通の利便性・定時性向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・児童・生徒の通学時安全性向上
- ・避難所へのアクセス性向上

(3)事業概要

路線名	烈々布幹線
事業区間	雁来篠路連絡線～篠路横21号線
事業延長	940m

現在の道路の状況

整備前



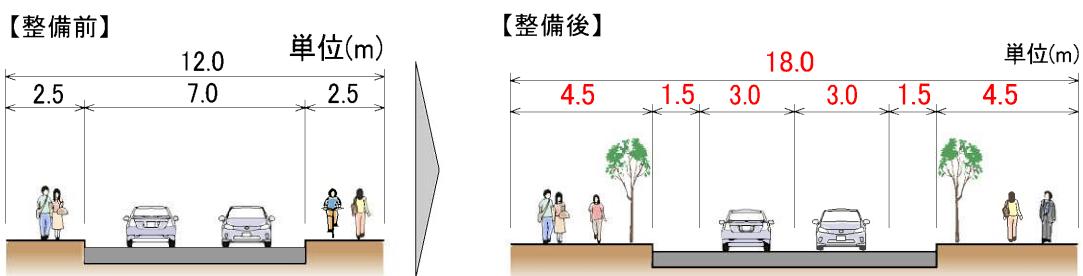
整備後



(4)位置図

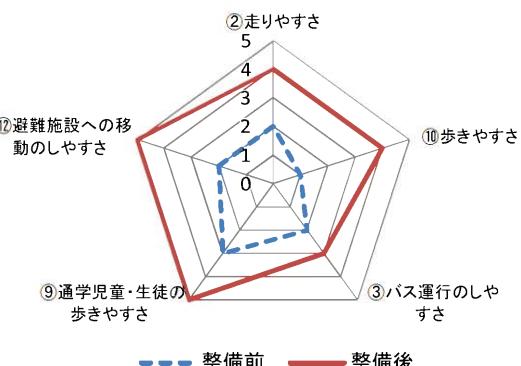


(5)幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

指標	整備前	→	整備後	【グラフ】
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク2 路肩幅員0.5m	⇒	ランク4 路肩幅員1.5m	②走りやすさ ランク2 ランク4 路肩幅員0.5m ⇒ 路肩幅員1.5m
⑩歩きやすさ	歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク1 歩道幅員2.5m	⇒	ランク4 歩道幅員4.5m	⑩歩きやすさ ランク1 ランク4 歩道幅員2.5m ⇒ 步道幅員4.5m
③バス運行のしやすさ	道路が広がりバス運行の円滑性が向上 ランク2 車道幅員7m	⇒	ランク3 車道幅員9m	③バス運行のしやすさ ランク2 ランク3 車道幅員7m ⇒ 車道幅員9m
⑨通学児童・生徒の歩きやすさ	通学路の歩道が広くなり通学時の安全性が向上 ランク3 歩道幅員2.5m	⇒	ランク5 歩道幅員4.5m	⑨通学児童・生徒の歩きやすさ ランク3 ランク5 歩道幅員2.5m ⇒ 步道幅員4.5m
⑫避難施設への移動のしやすさ	歩道が広くなることにより緊急時の避難路として活用可能 ランク2 歩道幅員2.5m	⇒	ランク5 歩道幅員4.5m	⑫避難施設への移動のしやすさ ランク2 ランク5 歩道幅員2.5m ⇒ 步道幅員4.5m



(7)備考

上記の他に、④災害時の輸送のしやすさ ⑭防災力向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

山本川下連絡線

(1)路線の特徴



平成27年10月作成

(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・バス交通の利便性・定時性向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・児童・生徒の通学時安全性向上
- ・避難所へのアクセス性向上

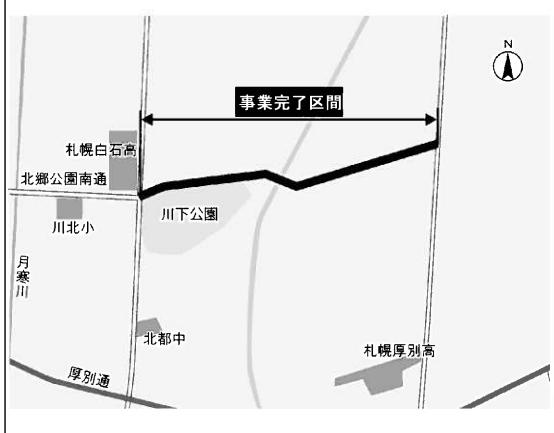
(3)事業概要

路線名	山本川下連絡線
事業区間	8線幹道線～山本線
事業延長	1710m

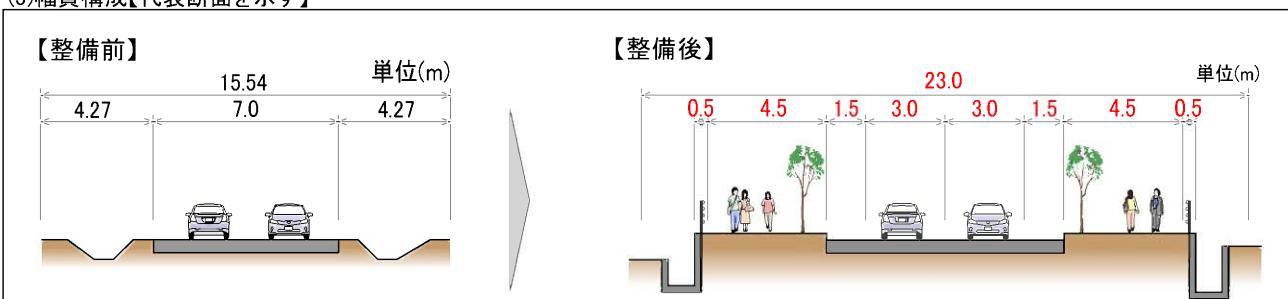
現在の道路の状況



(4)位置図



(5)幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

指標	整備前	→	整備後	【グラフ】
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク2 路肩幅員0.5m	⇒	ランク4 路肩幅員1.5m	②走りやすさ ⑩歩きやすさ ⑨通学児童・生徒の歩きやすさ ⑫避難施設への移動のしやすさ ⑬まちづくりを支援する道路の整備状況
⑩歩きやすさ	歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク1 歩道幅員0m	⇒	ランク4 歩道幅員4.5m	⑩歩きやすさ
⑨通学児童・生徒の歩きやすさ	通学路の歩道が広くなり通学時の安全性が向上 ランク1 歩道幅員0m	⇒	ランク4 歩道幅員4.5m	⑨通学児童・生徒の歩きやすさ
⑫避難施設への移動のしやすさ	歩道が広くなることにより緊急時の避難路として活用可能 ランク3 歩道幅員0m	⇒	ランク5 歩道幅員4.5m	⑫避難施設への移動のしやすさ
⑬まちづくりを支援する道路の整備状況	歩道が新設される道路 ランク1 整備なし	⇒	ランク5 整備あり	整備前 整備後

(7)備考

上記の他に、③バス運行のしやすさ ④災害時の輸送のしやすさ の面で整備効果があると考えられます。

簾舞小学校裏通線

(1)路線の特徴



平成27年10月作成

(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・バス交通の利便性・定時性向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・避難所へのアクセス性向上

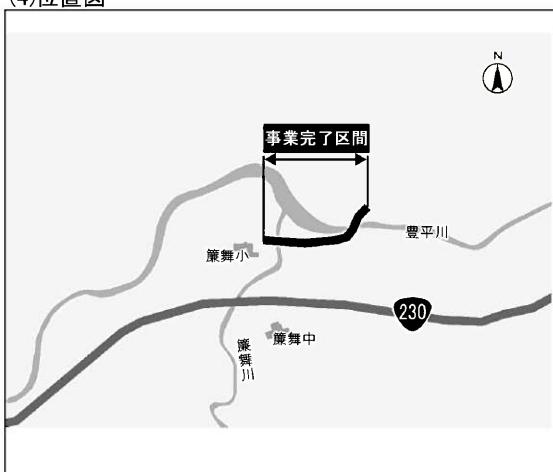
(3)事業概要

路線名	簾舞小学校裏通線
事業区間	簾舞43号線～石山線
事業延長	800m

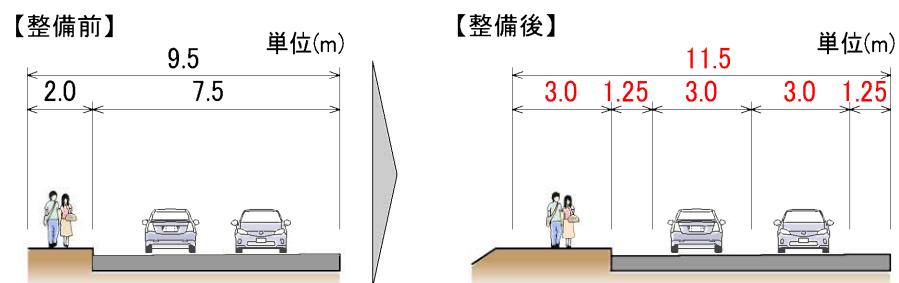
現在の道路の状況



(4)位置図



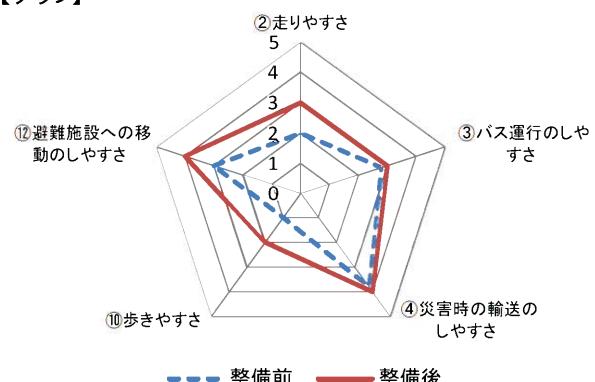
(5)幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

指標	整備前	→	整備後
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク2 路肩幅員0.75m	⇒	ランク3 路肩幅員1.25m
③バス運行のしやすさ	道路が広がりバス運行の円滑性が向上 ランク3 車道幅員7.5m	⇒	ランク3 車道幅員8.5m
④災害時の輸送のしやすさ	災害時に緊急輸送路として活用可能 ランク4 車道幅員7.5m	⇒	ランク4 車道幅員8.5m
⑩歩きやすさ	歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク1 歩道幅員2m	⇒	ランク2 歩道幅員3m
⑫避難施設への移動のしやすさ	歩道が広くなることにより緊急時の避難路として活用可能 ランク3 歩道幅員2m	⇒	ランク4 歩道幅員3m

【グラフ】



(7)備考

--

宮の森・北24条通

(1)路線の特徴



平成29年4月作成

(2)事業目的

- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・バス交通の利便性・定時性向上
- ・事故危険性の低減
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・児童・生徒の通学時安全性向上
- ・交通結節点へのアクセス性向上
- ・避難所へのアクセス性向上
- ・地域景観、地域防災力の向上

(3)事業概要

路線名	宮の森・北24条通
事業区間	新川通～創成川通
事業延長	1690m

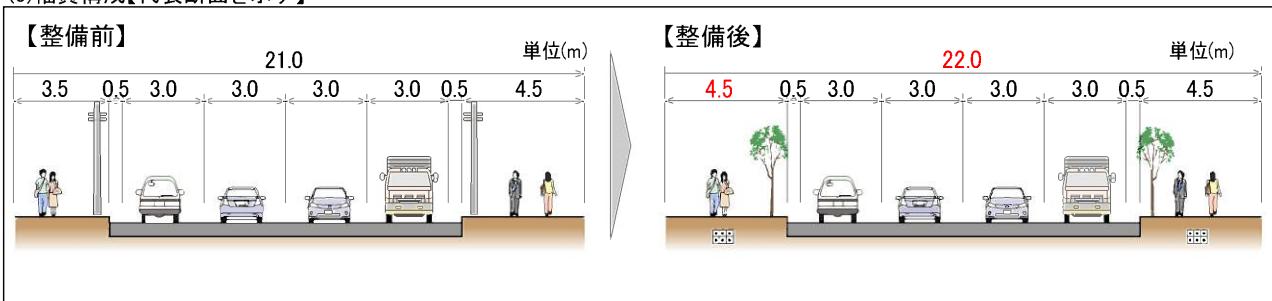
現在の道路の状況



(4)位置図



(5)幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後	【グラフ】
⑩歩きやすさ	歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク2 歩道幅員3.5m	⇒	ランク4 歩道幅員4.5m	⑯景観向上に資する道路の整備状況
⑪駅等への移動のしやすさ	駅にアクセスする歩道が広くなり駅利用時の利便性が向上 ランク3 歩道幅員3.5m	⇒	ランク4 歩道幅員4.5m	⑭防災力向上に資する道路の整備状況
⑫避難施設への移動のしやすさ	歩道が広くなることにより緊急時の避難路として活用可能 ランク4 歩道幅員3.5m	⇒	ランク5 歩道幅員4.5m	⑮景観向上に資する道路の整備状況
⑯防災力向上に資する道路の整備状況	電線地中化により道路の防災力が向上 ランク3 道路幅員15m超	⇒	ランク5 電線共同溝整備	⑰歩きやすさ
⑰景観向上に資する道路の整備状況	道路の整備により、沿道の景観が向上 ランク1 電線地中化なし	⇒	ランク5 電線地中化あり	⑪駅等への移動のしやすさ ⑫避難施設への移動のしやすさ ⑯防災力向上に資する道路の整備状況 ⑰歩きやすさ ⑱景観向上に資する道路の整備状況

(7)備考

上記の他に、⑨通学児童・生徒の歩きやすさ ⑩骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

南1条通

(1)路線の特徴

平成29年4月作成



(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・公共交通施設へのアクセス性向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・児童・生徒の通学時安全性向上
- ・避難所へのアクセス性向上
- ・地域景観・地域防災力の向上

(3)事業概要

路線名	南1条通
事業区間	西20丁目通～環状通
事業延長	880m

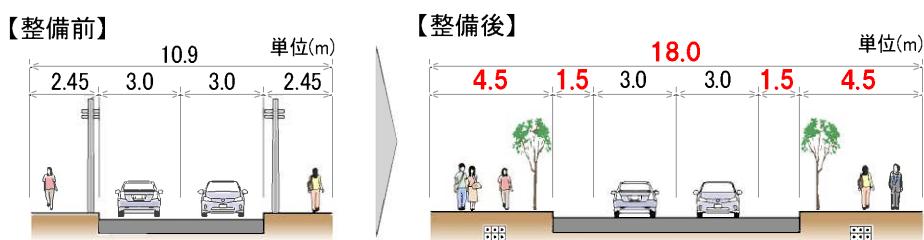
現在の道路の状況



(4)位置図



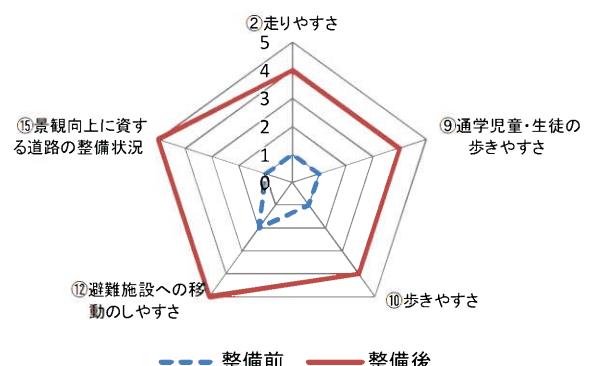
(5)幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク1 路肩幅員0m	⇒	ランク4 路肩幅員1.5m
⑨通学児童・生徒の歩きやすさ	通学路の歩道が広くなり通学時の安全性が向上 ランク1 歩道幅員2.45m	⇒	ランク4 歩道幅員4.5m
⑩歩きやすさ	歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク1 歩道幅員2.45m	⇒	ランク4 歩道幅員4.5m
⑫避難施設への移動のしやすさ	歩道が広くなることにより緊急時の避難路として活用可能 ランク2 歩道幅員2.45m	⇒	ランク5 歩道幅員4.5m
⑯景観向上に資する道路の整備状況	道路の整備により、沿道の景観が向上 ランク1 電線地中化なし	⇒	ランク5 電線地中化あり

【グラフ】

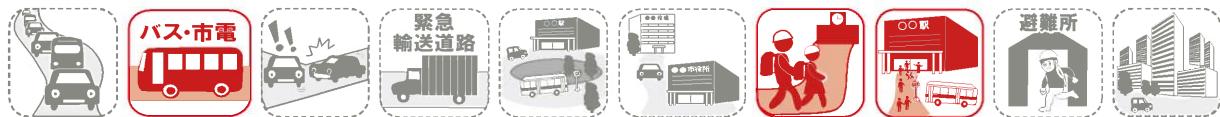


(7)備考

上記の他に、④災害時の輸送のしやすさ ⑭防災力向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

ひまわり通

(1)路線の特徴



平成31年3月作成

(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・バス交通の利便性・定時性向上
- ・児童・生徒の通学時安全性向上
- ・交通結節点へのアクセス性向上

(3)事業概要

路線名	ひまわり通
事業区間	ひまわり通線～大野地第1中線
事業延長	470m

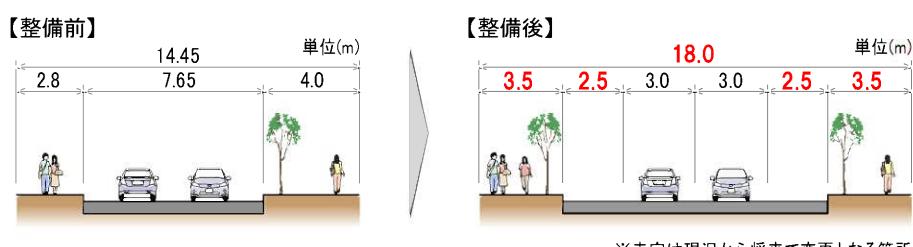
現在の道路の状況



(4)位置図



(5)幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後	【グラフ】
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク2 路肩幅員0.825m	⇒	ランク5 路肩幅員2.5m	②走りやすさ ④防災力向上に資する道路の整備状況 ⑨通学児童・生徒の歩きやすさ ⑩歩きやすさ ⑪駅等への移動のしやすさ
③バス運行のしやすさ	道路が広がりバス運行の円滑性が向上 ランク4 車道幅員7.65m	⇒	ランク5 車道幅員11m	③バス運行のしやすさ
④災害時の輸送のしやすさ	災害時に緊急輸送路として活用可能 ランク3 車道幅員7.65m	⇒	ランク4 車道幅員11m	④災害時の輸送のしやすさ
⑨通学児童・生徒の歩きやすさ	通学路の歩道が広くなり通学時の安全性が向上 ランク3 歩道幅員2.8m	⇒	ランク4 歩道幅員3.5m	⑨通学児童・生徒の歩きやすさ
⑩歩きやすさ	道路幅員増により道路の防災力が向上 ランク1 道路幅員15m以下	⇒	ランク3 道路幅員15m超	⑩歩きやすさ ⑪駅等への移動のしやすさ
⑪駅等への移動のしやすさ				--- 整備前 — 整備後

(7)備考

上記の他に、⑩歩きやすさ ⑪駅等への移動のしやすさ の面で整備効果があると考えられます。

興産社大野地線

(1)路線の特徴



平成31年3月作成

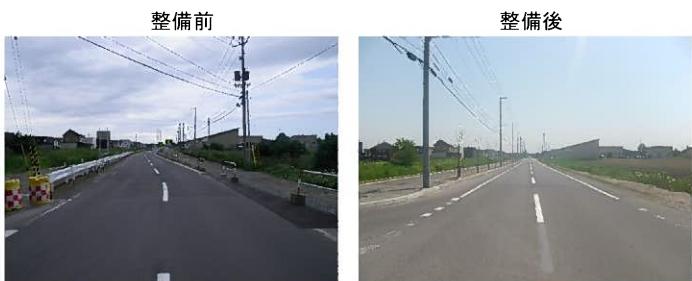
(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・公共交通施設へのアクセス性向上
- ・避難所へのアクセス性向上

(3)事業概要

路線名	興産社大野地線
事業区間	大野地第1中線～道道札幌当別線
事業延長	2200m

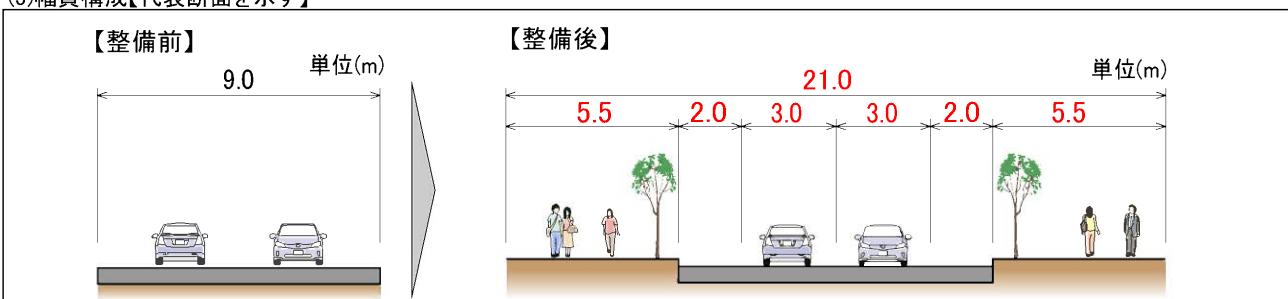
現在の道路の状況



(4)位置図



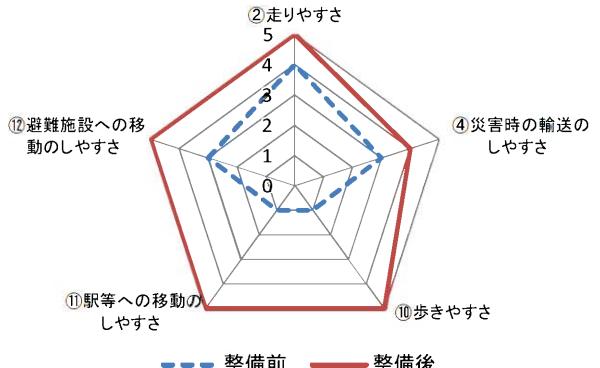
(5)幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク4 路肩幅員1.5m	⇒	ランク5 路肩幅員2m
④災害時の輸送のしやすさ	災害時に緊急輸送路として活用可能 ランク3 車道幅員9m	⇒	ランク4 車道幅員10m
⑩歩きやすさ	歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク1 歩道幅員0m	⇒	ランク5 歩道幅員5.5m
⑪駅等への移動のしやすさ	駅にアクセスする歩道が広くなり駅利用時の利便性が向上 ランク1 歩道幅員0m	⇒	ランク5 歩道幅員5.5m
⑫避難施設への移動のしやすさ	歩道が広くなることにより緊急時の避難路として活用可能 ランク3 歩道幅員0m	⇒	ランク5 歩道幅員5.5m

【グラフ】



(7)備考

上記の他に、⑭防災力向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

西野真駒内清田線(こばやし峠)

(1)路線の特徴



平成31年3月作成

(2)事業目的

- ・札幌都市圏の骨格幹線道路網の形成
- ・バス交通の利便性・定時性向上
- ・事故危険性の低減
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・避難所へのアクセス性向上

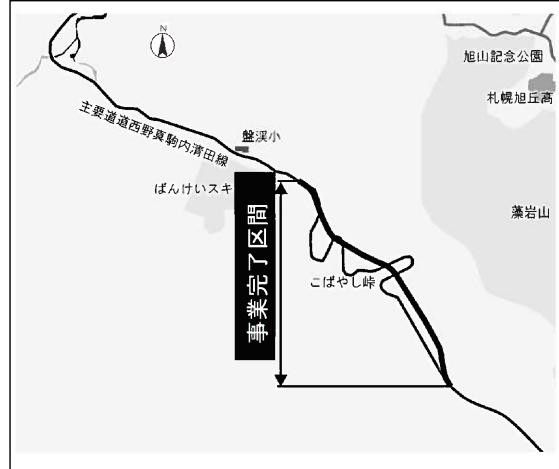
(3)事業概要

路線名	西野真駒内清田線(こばやし峠)
事業区間	中央区盤渓～南区北ノ沢
事業延長	2796m

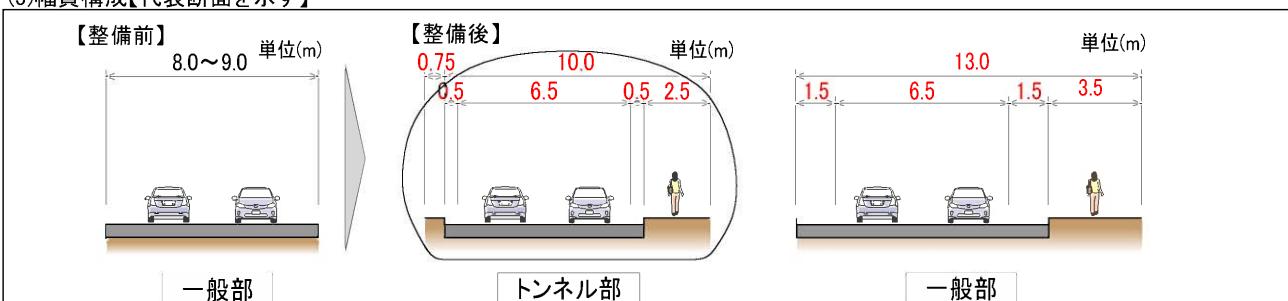
現在の道路の状況



(4)位置図



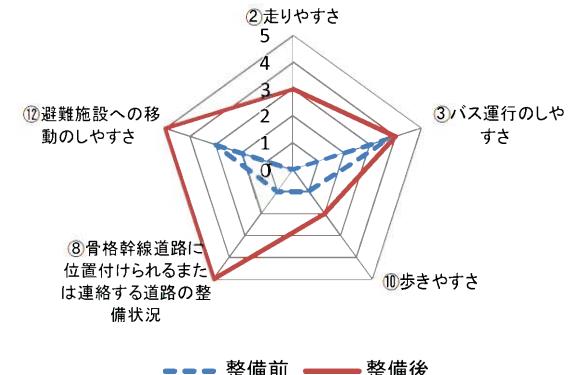
(5)幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

指標	整備前	→	整備後
②走りやすさ	車線数増により交通の円滑性が向上	-	ランク3 車線数1 ⇒ 車線数2
③バス運行のしやすさ	道路が広がりバス運行の円滑性が向上	ランク4 車道幅員8m ⇒ 車道幅員9.5m	ランク4
⑩歩きやすさ	歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上	ランク1 歩道幅員0m ⇒ 歩道幅員3.5m	ランク2
⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況	道路整備により都市の骨格となる幹線道路が形性または連絡強化	ランク1 整備なし ⇒ 整備あり	ランク5
⑫避難施設への移動のしやすさ	歩道が広くなることにより緊急時の避難路として活用可能	ランク3 歩道幅員0m ⇒ 步道幅員3.5m	ランク5

【グラフ】



(7)備考

--

厚別川左岸通

(1)路線の特徴



令和3年3月作成

(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・道路ネットワークの構築
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・他都市との連携強化
- ・避難所へのアクセス性向上

(3)事業概要

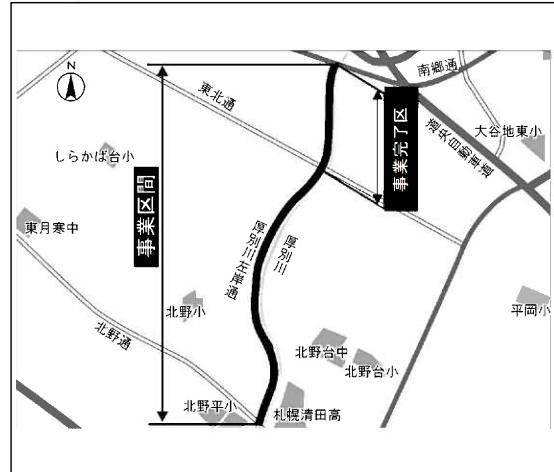
路線名	厚別川左岸通
事業区間	北野通～南郷通
事業延長	2200m
うち、事業着手区間	東北通～南郷通
うち、事業着手延長	620m

現在の道路の状況

事業区間(現道なし)

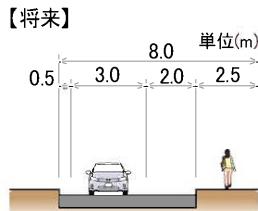


(4)位置図



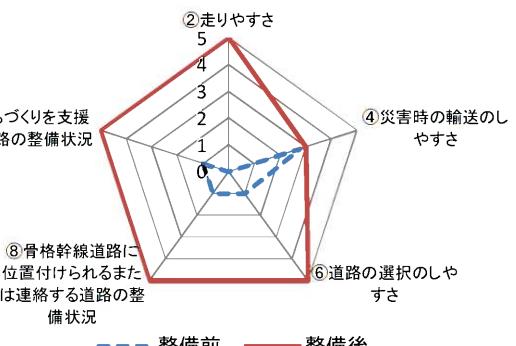
(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】

現道なし



(6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後	【グラフ】
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上	-	ランク5	
路肩幅員-m	路肩幅員-m	⇒	路肩幅員2m	
④災害時の輸送のしやすさ	災害時に緊急輸送路として活用可能	ランク3	ランク3	③まちづくりを支援する道路の整備状況
車道幅員0m	車道幅員0m	⇒	車道幅員5.5m	④災害時の輸送のしやすさ
⑥道路の選択のしやすさ	道路の整備により、選択可能な道路が増加	ランク1	ランク5	⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況
整備なし	整備なし	⇒	整備あり	⑥道路の選択のしやすさ
⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況	道路整備により都市の骨格となる幹線道路が形性または連絡強化	ランク1	ランク5	⑩まちづくりを支援する道路の整備状況
整備なし	整備なし	⇒	整備あり	⑨周辺市街地形形成を支援する道路の整備状況
⑩まちづくりを支援する道路の整備状況	道路の整備により、周辺市街地形形成を支援	ランク1	ランク5	⑪避難施設への移動のしやすさ
整備なし	整備なし	⇒	整備あり	⑫避難施設への移動のしやすさ



(7)備考

上記の他に、⑪避難施設への移動のしやすさ の面で整備効果があると考えられます。

清田通

(1)路線の特徴



令和3年3月作成

(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・道路ネットワークの構築
- ・バス交通の利便性・定時性向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・児童・生徒の通学時安全性向上
- ・避難所へのアクセス性向上
- ・地域間の連携強化

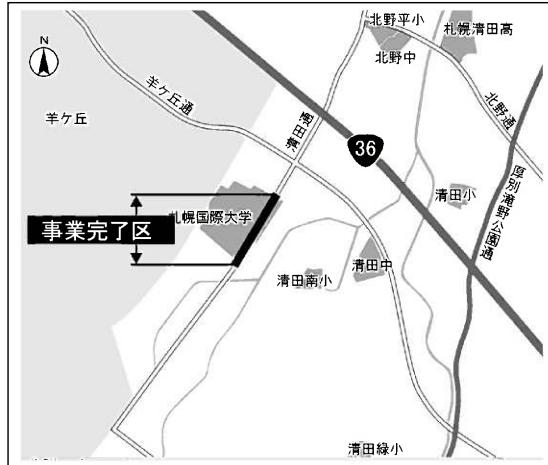
(3)事業概要

路線名	清田通
事業区間	清田77号線～清田86号線
事業延長	470m
うち、事業着手区間	清田77号線～清田86号線
うち、事業着手延長	470m

現在の道路の状況

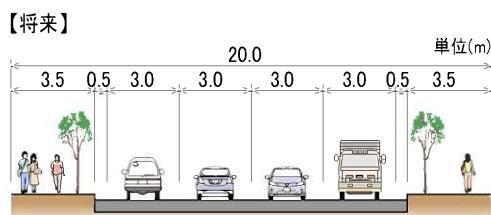


(4)位置図



(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】

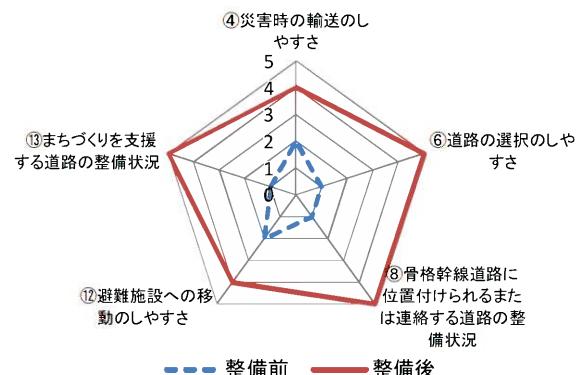
現道なし



(6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後
④災害時の輸送のしやすさ	災害時に緊急輸送路として活用可能		
ランク2 車道幅員0m	⇒	ランク4 車道幅員13m	
⑥道路の選択のしやすさ	道路の整備により、選択可能な道路が増加		
ランク1 整備なし	⇒	ランク5 整備あり	
⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況	道路整備により都市の骨格となる幹線道路が形態または連絡強化		
ランク1 整備なし	⇒	ランク5 整備あり	
⑫避難施設への移動のしやすさ	歩道が広くなることにより緊急時の避難路として活用可能		
ランク2 歩道幅員~m	⇒	ランク4 歩道幅員3.5m	
⑬まちづくりを支援する道路の整備状況	道路の整備により、周辺市街地形成を支援		
ランク1 整備なし	⇒	ランク5 整備あり	

【グラフ】



(7)備考

上記の他に、⑭防災力向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

北5条・手稻通

令和3年3月作成



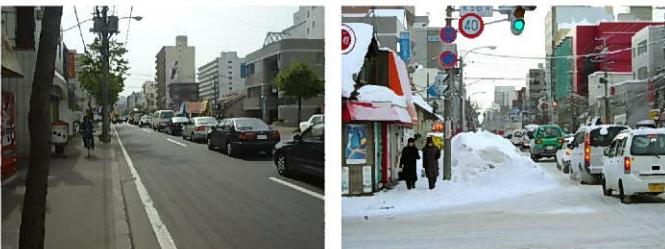
(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
 - ・歩行者の歩きやすさ向上
 - ・バス交通の利便性・定時性向上
 - ・事故危険性の低減
 - ・災害時の緊急輸送路の確保
 - ・児童・生徒の通学時安全性向上
 - ・避難所へのアクセス性向上
 - ・地域景観・地域防災力の向上
 - ・右折レーン設置による混雑緩和

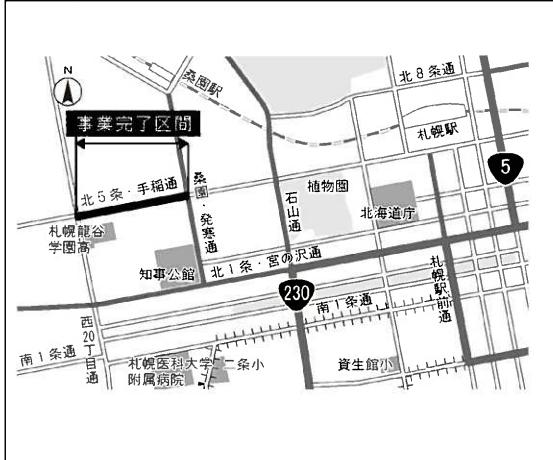
(3)事業概要

路線名	北5条・手稲通
事業区間	桑園・発寒通～西20丁目通
事業延長	630m
うち、事業着手区間	桑園・発寒通～西20丁目通
うち、事業着手延長	630m
現在の道路の状況	

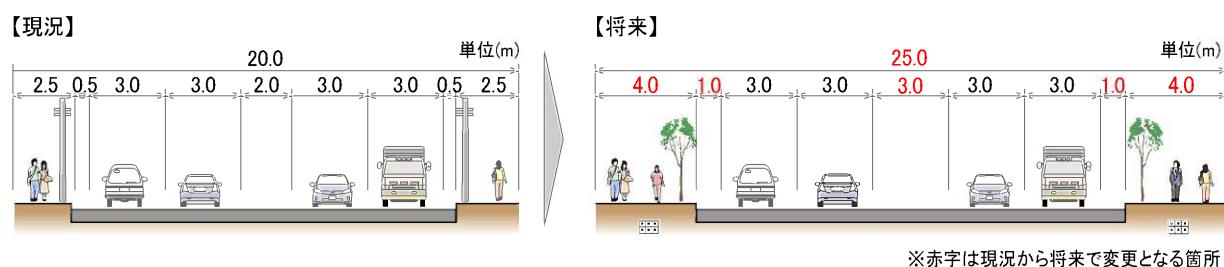
冬期には車線数減少による混雑が発生
(路肩が狭く堆雪スペースを十分に確保できない)



(4) 位置図



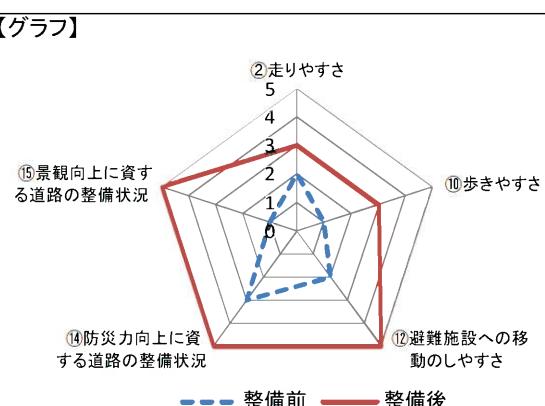
(5) 現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



※赤字は現況から将来で変更となる箇所

(6)整備効率

指標	整備前	⇒	整備後
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク2 路肩幅員0.5m	⇒	ランク3 路肩幅員1m
⑩歩きやすさ	歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク1 歩道幅員2.5m	⇒	ランク3 歩道幅員4m
⑫避難施設への移動のしやすさ	歩道が広くなることにより緊急時の避難路として活用可 ランク2 歩道幅員2.5m	⇒	ランク5 歩道幅員4m
⑭防災力向上に資する道路の整備状況	電線地中化により道路の防災力が向上 ランク3 道路幅員15m超	⇒	ランク5 電線共同溝整備
⑮景観向上に資する道路の整備状況	道路の整備により、沿道の景観が向上 ランク1 電線地中化なし	⇒	ランク5 電線地中化あり



(7)備考

北8条通

(1)路線の特徴



令和3年3月作成

(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・バス交通の利便性・定時性向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・児童・生徒の通学時安全性向上
- ・交通結節点へのアクセス性向上
- ・避難所へのアクセス性向上
- ・地域景観・地域防災力の向上

(3)事業概要

路線名	北8条通
事業区間	西2丁目線～創成川通
事業延長	130m
うち、事業着手区間	西2丁目線～創成川通
うち、事業着手延長	130m

現在の道路の状況

事業区間(整備前)



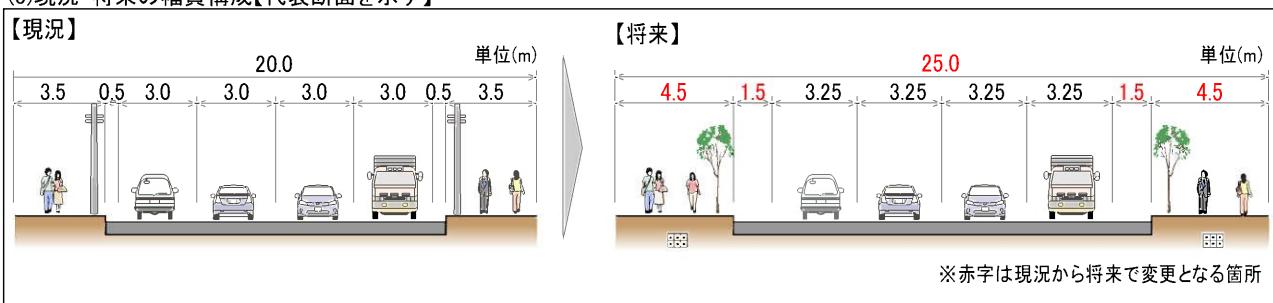
冬期には車線数減少による混雑が発生
(路肩が狭く堆雪スペース確保が困難)



(4)位置図



(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後	【グラフ】
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク2 路肩幅員0.5m	⇒	ランク4 路肩幅員1.5m	⑯景観向上に資する道路の整備状況
③バス運行のしやすさ	道路が広がりバス運行の円滑性が向上 ランク4 車道幅員13m	⇒	ランク5 車道幅員16m	②走りやすさ ③バス運行のしやすさ
④災害時の輸送のしやすさ	災害時に緊急輸送路として活用可能 ランク3 車道幅員13m	⇒	ランク4 車道幅員16m	⑩歩きやすさ ④災害時の輸送のしやすさ
⑩歩きやすさ	歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク2 歩道幅員3.5m	⇒	ランク4 歩道幅員4.5m	⑤電線地中化率
⑯景観向上に資する道路の整備状況	道路の整備により、沿道の景観が向上 ランク1 電線地中化なし	⇒	ランク5 電線地中化あり	整備前 整備後

(7)備考

上記の他に、⑤駅にアクセスする道路の整備状況 ⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況 ⑨通学児童・生徒の歩きやすさ ⑪駅等への移動のしやすさ ⑫避難施設への移動のしやすさ の面で整備効果があると考えられます。